

平成12年度水稻作関係

除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成12年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成12年12月7日、8日の2日間、池之端文化センターにおいて開催された。なお、適-1試験は、これに先立ち平成12年10月12日植調会館会議室にて開催された。ここに、これらの成果の概要を報告する。

1) 第1次適用性試験(適-1)成績について

平成12年度の適-1試験は、北海道地域(植調北海道試験地)、東北地域(植調古川試験地)、北陸地域(植調新潟試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿地域(植調滋賀試験地)、中国地域(植調広島第一試験地)、九州地域(植調福岡試験地)の全国7地域で24薬剤(のべ103点)について実施した。その判定結果は、第1表のとおりである。

2) 第2次適用性試験(適-2)成績について

平成12年度全国で実施した試験の総点数は、のべ1,138点であった。その内訳は、II-1(移植前土壌混和处理)2剤19点、II-2(移植前後土壌処理)9剤70点、II-3(移植後土壌処理)4剤17点、II-5(適用時期拡大)5剤34点、II-6(特殊雑草防除)のべ40剤77点、

III(直播栽培用)11剤38点、IV(畦畔雑草用)5剤34点、V(耕起前雑草用)2剤10点、不耕起栽培用2剤12点、VI(休耕田用)1剤5点、VII-1(初期一発処理剤)14剤101点、VII-2(初期・中期一発処理剤)57剤544点、VII-3(長期持続型一発処理剤)2剤9点、IX(一年生持続型除草剤)2剤24点、X(0.5kgおよび0.25kg粒剤)13剤128点、XI(生物除草剤)1剤16点であった。これら適-2試験の判定結果は第2表のとおりである。

3) ジャンボ剤適用性試験成績について

平成12年度全国で実施したジャンボ剤適用性試験は、のべ673点であった。この内訳はII-2(移植前後土壌処理)4剤63点、II-3(移植後土壌処理)1剤5点、II-5(適用時期拡大)1剤6点、II-6(特殊雑草防除)のべ7剤16点、VII(一発処理剤)35剤512点、IX(一年生持続型除草剤)4剤71点であった。これら適用性試験の判定結果は第3表のとおりである。

第1表 平成12年度 水稻作関係除草剤適一試験 成績判定結果一覧

注) 判定欄の記入については、◎：極めて有望、○：有望、□：可能性有り、△：再検討、×：見込みなし を表す。

No.	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 [今後の課題等]
			北海道	古川	新潟	竜ヶ崎	滋賀	広島1	福岡	
1	KPP-2008 乳(EW) [科研]	ブタクロール : 12 ベントキサゾン : 4		○		○	○	□		○ 移植前後土壌処理剤として ノビエ ~1.5L ホタルイ ~1.0L
2	AVH-002-1kg 粒 [アベントリス]	ベンラフェート : 4 エトキシスルフロン : 0.17 オキサジゾン※ : 4.5 (※9/7付 成分公開)	○	○	□	□	○	□	△	□ 初期一発処理剤として ノビエ ~1.5L ホタルイ ~1.5L ・抑草期間について ・処理時期と効果の安定性について
3	HSW-001 フロアブル [北海三共]	ビラゾール : 300g/L フェントラザミド (NBA-061) : 40g/L ベンゾビシロン : 40g/L	○							○ 初期一発処理剤として ノビエ ~2.0L ホタルイ ~2.0L ・抑草期間について
4	KPP-2009-1kg 粒 [科研]	ブタクロール : 7.5 ベントキサゾン : 2.5 ベンスルフロメチル : 0.75	□	○						○ 初期一発処理剤として ノビエ ~2.0L ホタルイ ~2.0L ・薬害の程度及び回復性について
5	KPP-2009(L)-1kg 粒 [科研]	ブタクロール : 7.5 ベントキサゾン : 2.5 ベンスルフロメチル : 0.51			□	○	○	○	□	□ 初期一発処理剤として ノビエ ~1.5L ホタルイ ~2.0L ・ノビエ、ホタルイの葉齢限界について
6	KUH-003D-0.25kg 粒 [クミ化]	ビリミノックメチル : 1.8 オキサジクロメホン : 1.6 ベンスルフロメチル : 2 クロメブロッグ : 14			○	○	○	○	○	○ 一発処理剤として ノビエ ~2.0L ホタルイ ~2.0L
7	KUH-003K-0.25kg 粒 [クミ化]	ビリミノックメチル : 1.8 オキサジクロメホン : 1.6 ベンスルフロメチル : 3 クロメブロッグ : 14	○	○						○ 一発処理剤として ノビエ ~2.0L ホタルイ ~2.0L
8	NBA-126a-1kg 粒 [ハリエル]	フェントラザミド (NBA-061) : 2 ベンスルフロメチル : 0.75 未公開(既知) : A	○	○						○ 初期一発処理剤として ノビエ ~2.0L ホタルイ ~2.0L
9	NC-385SB 顆粒水和 [日産・SDS・ハリエル]	ビラゾールフロメチル : 2.6 フェントラザミド (NBA-061) : 25 ベンゾビシロン : 25	○	○	□	○	○	○	○	○ 初期一発処理剤として ノビエ ~2.0L ホタルイ ~2.0L
10	NC-397-1kg 粒 [日産]	ビラゾールフロメチル : 0.3 ブロモグチド : 6 オキサジゾン※ : 4.5 (※8/25付 成分公開)	□	□	□	○	△	△	□	□ 初期一発処理剤として ・水稻に対する影響と回復性について
11	HOK-204-1kg 粒 [北興]	ベンスルフロメチル : 0.75 オキサジクロメホン : 0.8 クロメブロッグ : 3.5	◎	□						□ 初期一発処理剤として ・効果の安定性、ノビエ、ホタルイの葉齢限界について
12	HOK-205-1kg 粒 [北興]	ベンスルフロメチル : 0.51 オキサジクロメホン : 0.8 クロメブロッグ : 3.5			□	○	○	□	□	□ 初期一発処理剤として ・効果の安定性、葉齢限界について

注) 判定欄の記入については、◎: 極めて有望, ○: 有望, □: 可能性有り, △: 再検討, ×: 見込みなし を表す。

No.	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 [今後の課題等]
			北海道	古川	新潟	竜ヶ崎	滋賀	広島1	福岡	
13	KUH-004D-1kg 粒 [クミ化]	ピリミパ ッカメチル : 0.6 ベントキサリ : 2 ベンスルフロメチル : 0.51 ダイムロン : 3				○	○	○	○	○ 初・中期一発処理剤として ノビエ ~3L ホタルイ ~2.0L ・ホタルイの葉齢限界について
14	KUH-004K-1kg 粒 [クミ化]	ピリミパ ッカメチル : 0.6 ベントキサリ : 2 ベンスルフロメチル : 0.75 ダイムロン : 3	○	○						○ 初・中期一発処理剤として ノビエ ~3L ホタルイ ~2.0L ・ホタルイの葉齢限界について
15	MY-100NC-1kg 粒 [*日産・アベントリス]	ピラザ スルフロニチル : 0.3 オキサジ クロメホン : 0.8 クロメゾ ロップ : 3.5	◎	◎	○	○	○	○	□	○ 初・中期一発処理剤として ノビエ ~2.5L ホタルイ ~2.5L ・ノビエ, ホタルイの葉齢限界と条件について
16	MY-100TSC フロアブル [*武田・アベントリス]	イマザ スルフロニチル : 1.7 オキサジ クロメホン : 1.2 クロメゾ ロップ : 6.6 ダイムロン : 9.5	○	○	○	○				○ 初・中期一発処理剤として ノビエ ~2.5L ホタルイ ~2.0L
17	NH-003-1kg 粒 [*日農・デューボン・三菱]	ベンスルフロメチル : 0.75 インダ ノファン : 1.4 クロメゾ ロップ : 3.5	○	□						□ 初・中期一発処理剤として ノビエ ~2.5L ホタルイ ~2.5L ・ノビエの効果について
18	NH-004-1kg 粒 [*日農・デューボン・三菱]	ベンスルフロメチル : 0.51 インダ ノファン : 1.4 クロメゾ ロップ : 3.5				○	○	○	□	□ 初・中期一発処理剤として ノビエ ~2.5L ホタルイ ~2.5L ・薬害と回復性について
19	SW-002 フロアブル (旧HSW-982) [*三共・永光・デューボン]	カフェンストロール : 5.5 ダイムロン : 10 ベンスルフロメチル : 1.4 ブロンゾビシロン : 12		○						○ 初・中期一発処理剤として ノビエ ~2.5L ホタルイ ~2.0L
20	SW-005 フロアブル [*三共・永光・デューボン・SDS]	カフェンストロール : 5.5 ダイムロン : 10 ベンスルフロメチル : 1.4 ブロンゾビシロン : 4 (W/V)	○	○						○ 初・中期一発処理剤として ノビエ ~2.5L ホタルイ ~2.5L ・2.5Lノビエの効果確認 ・ホタルイに対する残効性について
21	SW-005(L) フロアブル [*三共・永光・デューボン・SDS]	カフェンストロール : 5.5 ダイムロン : 10 ベンスルフロメチル : 1 ブロンゾビシロン : 4 (W/V)				○	◎	◎	◎	◎ 初・中期一発処理剤として ノビエ ~2.5L ホタルイ ~2.5L
22	TH-001 フロアブル [*武田・永光・SDS]	イマザ スルフロニチル : 1.7 カフェンストロール : 5.7 ブロンゾビシロン : 3.8	○	○	○	◎	◎	○	○	○ 初・中期一発処理剤として ノビエ ~2.5L ホタルイ ~2.5L ・砂壌土での広葉の抑草期間について
23	HOK-201 フロアブル [北興]	HOK-201 (未公開(新規)) 計 6	□	□	□	□	□	□	□	□ 混合母剤として ノビエ ~3.0L ・対象草種と処理時期について
24	HOK-202 フロアブル [北興]	HOK-201 (未公開(新規)) 未公開(既知) 計 15	□	□	△	□	○	△	○	□ ノビエ ~3.0L ・混合効果について

第2表 平成12年度 水稻関係除草剤適-2試験成績判定結果一覧

区 分	実 ・ 継	継
Ⅱ-1 移植前土壌混和处理	KPP-2008 乳(EW), フタクロ-Ⅱ 乳	
Ⅱ-2 移植前後土壌処理 Ⅱ-2-(1)	CG-113 EW, NSK-863 フロアフル YH-562 フロアフル, フタクロ-Ⅱ-1kg 粒	KPP-2008 乳(EW)
Ⅱ-2-(2)	KPP-2005④フロアフル(少量), NSK-859 フロアフル RYH-118-1kg 粒, YH-562 フロアフル	
Ⅱ-3 移植後土壌処理 Ⅱ-3-(1)	KH-183 粒	HSW-991 フロアフル
Ⅱ-3-(2)	KUH-958 フロアフル(少量) SL-970 フロアフル(少量)	
Ⅱ-5 適用時期拡大	DEH-112-1kg 粒, KUH-983-1kg 粒, SW-973-1kg 粒, YH-591-1kg 粒	SB-551-1kg 粒
Ⅱ-6-(1) クログワイ対象	HJ-943-1kg 粒, KPP-932 フロアフル, KUH-958 フロアフル, MY-100TS フロアフル, NBA-076a-1kg 粒, NBA-076b-1kg 粒, NBA-096a フロアフル, NBA-096b フロアフル SB-528 フロアフル	NC-339-1kg 粒
Ⅱ-6-(2) オモダカ対象	CH-906④-1kg 粒, HJ-943-1kg 粒, KPP-932 フロアフル, MY-100TS フロアフル, NBA-076a-1kg 粒, NBA-076b-1kg 粒, NBA-096a フロアフル, NBA-096b フロアフル, NBA-941-1kg 粒,	DHN-971 フロアフル, MY-100DC フロアフル, NC-339-1kg 粒, SW-973-1kg 粒
Ⅱ-6-(5) シズイ対象	KPP-932 フロアフル, MY-100DC フロアフル, NBA-096a フロアフル, NC-339-1kg 粒, SB-528 フロアフル	

区 分	実 ・ 継	継
Ⅱ-6-(6) エゾノサヤヌカグサ対象	<u>DHN-971</u> 7077'ル, <u>MY-100DC</u> 7077'ル, <u>SB-556</u> 7077'ル	
Ⅱ-6-(7) クサネム対象	<u>SW-973-1kg</u> 粒, KUH-911 液	
Ⅱ-6-(8) コウキヤガラ対象	<u>KPP-2005</u> ④ 7077'ル, <u>MY-100DC</u> ① 7077'ル, SB-528 7077'ル	
Ⅱ-6-(9) キシウスズメノヒエ対象	DEH-112 乳(EW), DEH-BAS 乳(ME)	SW-973-1kg 粒
Ⅱ-6-(10) その他	<u>SW-973-1kg</u> 粒	
Ⅲ 直播栽培	AGH-925-1kg 粒, CDS-941 7077'ル, CDS-941① 7077'ル, NBA-941-1kg 粒, NBA-942a-1kg 粒, NBA-942b-1kg 粒, モリネトSM-1kg 粒, KUH-931-1kg 粒, KUH-936B-1kg 粒 不耕起直播: <u>WOC-01</u> 液	SW-973-1kg 粒, TCG-128 乳 不耕起直播: フタコロ(播種後) 乳
Ⅳ 畦畔対象	<u>CG-231GT</u> 7077'ル, MON-96A 液, <u>SW-995</u> 7077'ル	NH-007 7077'ル, SUM-99 7077'ル
V 耕起前		NH-007 7077'ル, ZK-121 液
Ⅵ 休耕田		NH-501 7077'ル
Ⅶ-1 初期一発処理剤	AGH-975 7077'ル, NBA-076a-1kg 粒, NBA-076b-1kg 粒, NBA-096a 7077'ル, NBA-096b 7077'ル, PSS①D-1kg 粒, SB-533 7077'ル	HSW-001 7077'ル, KPP-2009-1kg 粒, KPP-2009①-1kg 粒, NC-385SB 顆粒水和, NC-397-1kg 粒, AVH-002-1kg 粒, NBA-126a-1kg 粒

区 分	実 ・ 継	継
VII-2 初・中期一発処理剤	AGH-925-1kg 粒, CDS-941 7077' ㄴ, DHN-971 7077' ㄴ, DHN-971㉔ 7077' ㄴ, HJ-943-1kg 粒, <u>HOK-205-1kg 粒</u> , KK-961-1kg 粒, KK-962-1kg 粒, KUH-972D 7077' ㄴ, KUH-972K 7077' ㄴ, KUH-985 7077' ㄴ, KUH-985㉔ 7077' ㄴ, KUH-989D-1kg 粒, KUH-989K-1kg 粒, MK-243D㉔ 7077' ㄴ, MY-100D㉔-1kg 粒, MY-100DC 7077' ㄴ, MY-100DC㉔ 7077' ㄴ, MY-100N 顆粒水和, <u>MY-100NC 顆粒水和</u> , <u>MY-100NC-1kg 粒</u> , <u>MY-100NDC-1kg 粒</u> , MY-100TS 7077' ㄴ, NBA-942b-1kg 粒, NC-339 顆粒水和, NC-339-1kg 粒, NC-385 顆粒水和, NC-390 7077' ㄴ, <u>NC-395 顆粒水和</u> , NH-803 7077' ㄴ, NH-804 7077' ㄴ, NOJ-101-1kg 粒, <u>NOJ-102-1kg 粒</u> , NOJ-103-1kg 粒, NOJ-104-1kg 粒, <u>NOJ-105 OF</u> , <u>NOJ-106 OF</u> , NSK-858㉔ 7077' ㄴ, NSK-858㉔-1kg 粒, NSK-858A-1kg 粒, RH-631-1kg 粒, SB-556 7077' ㄴ, SW-002 (旧HSW-982) 7077' ㄴ, <u>SW-991-1kg 粒</u> , TH-951 7077' ㄴ, <u>NBA-941S-1kg 粒</u> , NC-311DCD-1kg 粒,	HOK-204-1kg 粒, KUH-004D-1kg 粒, KUH-004K-1kg 粒, NH-003-1kg 粒, NH-004-1kg 粒, TH-001 7077' ㄴ, MY-100TSC 7077' ㄴ, TH-913NCS 7077' ㄴ, SW-005 7077' ㄴ, SW-005㉔ 7077' ㄴ
VII-3 長期持続型一発処理剤	AC-014A-1kg 粒, AC-014C-1kg 粒	
IX 一年生持続型除草剤	<u>HOK-983 7077' ㄴ</u> , <u>MY-100MS 7077' ㄴ</u>	
X 0.5kgおよび0.25kg粒剤	移植後土壌処理剤 <u>KUH-992-0.25kg 粒</u> 一発処理剤 <u>AGH-987-0.5kg 粒</u> , AKD-7105-0.5kg (旧NC-386-0.5kg) 粒, KUH-986D-0.25kg 粒, KUH-986K-0.25kg 粒, MK-243D㉔-0.5kg 粒, MK-243DS-0.5kg 粒, MK-243N-0.5kg 粒, NH-801-0.5kg 粒, NH-802-0.5kg 粒	一発処理剤 KUH-003D-0.25kg粒, KUH-003K-0.25kg粒 一年生持続型除草剤 MK-243S-0.5kg 粒
X I 生物除草剤		MTB-951

第3表 平成12年度 水稻除草剤ジャンボ剤適用性試験成績判定結果一覧

区 分	実 ・ 継	継
Ⅱ-2 移植前後土壌処理	KPP-2005, SW-972, <u>ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ</u>	MAT-159
Ⅱ-3 移植後土壌処理	SB-554	
Ⅱ-5 適用時期拡大	DEH-112	
Ⅱ-6-(1) クログワイ対象	<u>NBA-092a</u> , <u>NBA-092b</u>	SB-554
Ⅱ-6-(2) オモダカ対象	<u>HSA-971</u> , <u>NBA-092a</u> , <u>NBA-092b</u>	
Ⅱ-6-(6) エゾノサヤヌカグサ対象	<u>NBA-092a</u>	
VII 一発処理剤	AC-014C, <u>AC-014C-50</u> , AGH-987, HSA-971, <u>KUH-883(改)</u> , <u>KUH-883㊦(改)</u> , KUH-975PD, KUH-975PK, <u>MY-100DC㊦</u> , MY-100MS, <u>MY-100NC</u> , NBA-092a, NBA-092b, NBA-093, NBA-101, NC-377㊦, <u>NC-391㊦</u> , <u>NCH-903DEH</u> , NH-805, NH-806, <u>NH-906</u> , <u>ONC-381(旧NC-381)</u> , SW-952, <u>SW-952P5㊦</u> , <u>SW-952P5㊦</u> , TH-913CS, AC-014C㊦	AC-014R, AGH-008, MY-100DC㊦, NBA-101SB, NH-001, NH-002, SW-001㊦, SW-001㊦
IX 一年生持続型除草剤	<u>SB-533P5</u> , <u>SB-554</u> , SW-965	HOK-991

注) : 1) 本年度新規に使用基準を作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。

2) 本年度は「実」、「継?」及び「中止」と判定された薬剤はなかった。

平成12年度 水稻関係除草剤使用基準一覧表

II-1 移植前土壌混和処理

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マハ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ カリ	ヘラ タカ	クロ グ	オモ グ	ヒル ムシ ロ	類 表 剥 離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-1 KPP-2008 乳(EW)	土壌混和処理	北海道											植代時(〜4)	50 ml/a						混和時の 水深3〜5cm
		東北	●	●	●		●											●	1	
		北陸	●	●	●		●									●	●	●	1.5	
		関東 東海	早 普	● ●	● ●		● ●										● ●	● ●	2	
		近畿 中国	早 普	● ●	● ●		● ●										● ●	● ●	1	
		四国	早 普	● ●	● ●		● ●										● ●	● ●		
		九州	早 普														● ●	● ●		

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マハ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ カリ	ヘラ タカ	クロ グ	オモ グ	ヒル ムシ ロ	類 表 剥 離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-1 ブタクロ-Ⅱ 乳	土壌混和処理	北海道											植代時 (〜4)	30 ml/a						混和時の 水深3〜5cm
		東北	○	○	○												○	○	1	
		北陸																		
		関東 東海	早 普	● ○	● ○	● ○	● ○										● ○	● ○	1 2	
		近畿 中国	早 普																	
		四国	早 普																	
		九州	早 普																	

II-2 移植前後土壌処理
II-2-(1) (従来通り)

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マハ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ カリ	ヘラ タカ	クロ グ	オモ グ	ヒル ムシ ロ	類 表 剥 離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-2-(1) CG-113 EW	土壌処理	北海道	●1	●	●始								+0〜+5(ノビエIL) 植代後〜4, +0〜+5 (ノビエIL)	10 ml/a (50 ml/a)	1.5	●	●	●	2	(13)
		東北	●1	●	●始	●始										●	●	●		
		北陸	●1	●	●始	●始										●	●	●	1.5	
		関東 東海	早 普	●1 ●	● ●	●始 ●始									● ●	● ●	● ●	● ●	1 2	
		近畿 中国	早 普	●1 ●	● ●	●始 ●始	●始									●	●	●	1	
		四国	早 普	●1 ●	● ●	●始 ●始	●始									●	●	●		
		九州	早 普	●1 ●	● ●	●始 ●始	●前 ●始								● ●	● ●	● ●	● ●	1.5	

II-2-(1) KPP-2008 乳(EW) 「継」

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マハ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ カリ	ヘラ タカ	クロ グ	オモ グ	ヒル ムシ ロ	類 表 剥 離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-2-(1) NSK-863 7077-Ⅱ	土壌処理	北海道	○1.5	○	○始								+0〜ノビエIL.5L 植代後〜4, +0〜ノビエIL.5L	50 ml/a	○	○	○	○	2	
		東北	○1.5	○	○始										○	○	○	○	1.5	
		北陸	○1.5	○	○始										○	○	○	○	2	
		関東 東海	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始									● ○	○ ○	○ ○	○ ○	1 2	
		近畿 中国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始									○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1 1.5	
		四国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始									○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1 1.5	
		九州	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始									○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1 2	

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年葉 広マハ	オケルイ	ウリカ	ミヤ カマリ	ハナモ ダカ	クロカ イ	オモカ シ	ヒルム シ	藻類 剥離		処理時期	使用量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
II-3-(1) YII-562 7077' Ⅱ	土壌処理	北海道		○ 1	○	○ 始				○ 始			○ 前		+0 ~ +5 (ノ・エ IL)	50 ml/a	○	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北 ~ 四国)	
		東北		○ 1.5	○	○ 始				○ 始			○ 前		+0 ~ +5 (ノ・エ IL)		○	○	○	○			
		北陸		○ 1.5	○	○ 始							○ 前				○	○	○	○			
		関東 東海	早 普	○ 1.5 ○ 1.5	○ ○	○ 始 ○ 始							○ 前 ○ 前				○ ○	○	○	○			○
		近畿 中国	早 普	○ 1 ○ 1	○ ○	○ 始 ○ 始									+0 ~ +5 (ノ・エ IL)			○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		1
			早 普	○ 1 ○ 1	○ ○	○ 始 ○ 始											○ ○	○ ○	○ ○	○ ○			
		四国	早 普	○ 1 ○ 1	○ ○	○ 始 ○ 始													○ ○	○ ○	○ ○		○ ○
			早 普	○ 1 ○ 1	○ ○	○ 始 ○ 始													○ ○	○ ○	○ ○		○ ○
		九州	早 普	○ 1 ○ 1	○ ○	○ 始 ○ 始													○ ○	○ ○	○ ○		○ ○
			早 普	○ 1 ○ 1	○ ○	○ 始 ○ 始													○ ○	○ ○	○ ○		○ ○

	処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	ネグイ	ウリカ	ミヤ カマリ	ハナモ ダカ	クロ カ	オモ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	堆 土	堆 土	堆 土	水深 cm/d	使用上の 注意	
II-3-(1) ブタクロ-Ⅱ-1kg 粒	土壌処理	北海道	●1	●	●始			●前						+	~+5 (ノ・エ IL)	100 g/a	●	●	●	●	2		
東北		●1	●	●始			●始								植代後~4, +1~+5 (ノ・エ IL)			●	●				
北陸		●1	●	●始			●始											●	●	●			
関東 東海		早 普	●1 ○1	● ○	●始 ○始			●始 ●始							+	1~+5 (ノ・エ IL)			●	●	●		2
近畿 中国		早 普	●1 ●1	● ●	●始 ●始			●前 ●前											●	●	●		
四国		早 普	●1 ●1	● ●	●始 ●始			●前 ●前											●	●	●		
九州		早 普	●1 ●1	● ●	●始 ●始														●	●	●		1.5

II-2-(2) (一発処理剤の前処理)

	処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	ネグイ	ウリカ	ミヤ カマリ	ハナモ ダカ	クロ カ	オモ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離			処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅱ-2-(2) 少量 KPP-2005 (Ⅱ) 7077' Ⅱ	土壌処理	北海道		○1	○	○始										+0~+5 (ノ・エ IL)	30 ml/a	○ ⁵	○	○	○	○	2	一発処理剤の前 除草として 少量散布 (30ml/a)が 可能。	
		東北		○1	○	○始			○前								植代後~4, +0~+5 (ノ・エ IL)		○	○	○	○	1.5		
		北陸		○1	○	○始			○始										○	○	○	○	1		
		関東 東海	早	○1	○	○始			○始										●	●	○	○	1		
			普	○1	○	○始			○始											○	○	○	○		2
		近畿 中国	早	○1	○	○始			○始											●	○	○	○		1.5
			普	○1	○	○始			○始											○	○	○	○		2
		四国	早	○1	○	○始			○始											●	○	○	○		1.5
			普	○1	○	○始			○始											○	○	○	○		2
		九州	早	○1	○	○始			○始											○	○	○	○		1.5
普	○1		○	○始			○始											○	○	○	○				

	処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	ネグイ	ウリカ	ミヤ カマリ	ハナオモ ダカ	クロダ イ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅱ-2-(2) NSK-859 7077' Ⅱ	土壌処理	北海道	○1	○	○始				○始						植代後～4, +0～+5 (ノ・エIL)	50 ml/a	○ 5	○	○	○	○	2	*移植前処 理を除く (関東・東海 ～四国の 早期)	
		東北	○1	○	○始				○始									○	○	○	○	1.5	水口処理 可能	
		北陸	○1	○	○始				○始									○	○	○	○	2		
		関東 東海	早	○1	○	○始				○始								○*	○	○	○	1		
			普	○1	○	○始				○始									○	○	○	○		2
		近畿 中国	早	○1	○	○始				○始									○*	○	○	○		1.5
			普	○1	○	○始				○始									○	○	○	○		
		四国	早	○1	○	○始				○始									○*	○	○	○		
			普	○1	○	○始				○始									○	○	○	○		
		九州	早	○1	○	○始				○始									○	○	○	○	2	
普	○1		○	○始				○始									○	○	○	○	1			

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マハイ	ホトメ	ウリカ	ミヤガ	ヘラオモ	クログ	オモカ	ヒルムシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減深	使用上の注意
II-2-(2) RYH-118-1kg粒	土壌処理	北海道	○1	○									+0~+5 (/ハ・エIL)	100 g/a	○	○	○	○	2	(5)
		東北	○1	○									植代後~+4, +0~+5 (/ハ・エIL)	100 g/a	○	○	○	○	1.5	一発処理型除草剤として使用する。
		北陸	○1	○										100 g/a	●	●	○	○	2	※移植前処理を施す(関東・東海の普通期)
		関東東海	早○1	○										100 g/a	●	○	○	○	1	
		早普	○1	○										100 g/a	○	○	○	○	2	
		近畿中国	早○1	○										100 g/a	●	○	○	○	1	
		早普	○1	○										100 g/a	○	○	○	○	2	
		四国	早○1	○										100 g/a	●	○	○	○		
		早普	○1	○										100 g/a	○	○	○	○		
		九州	早○1	○										100 g/a	●	○	○	○	2	
		早普	○1	○										100 g/a	●	●	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マハイ	ホトメ	ウリカ	ミヤガ	ヘラオモ	クログ	オモカ	ヒルムシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減深	使用上の注意
II-3-(2)少量 YH-562 7077g/l	土壌処理	北海道	○1	○	○始			○前				○前	+0~+5 (/ハ・エIL)	30 ml/a	○	○	○	○	2	一発処理型除草剤として少量散布(30ml/a)が可能(北海道~北陸)
		東北	○1	○	○始			○始					植代後~+4, +0~+5 (/ハ・エIL)	30 ml/a	○	○	○	○	1.5	
		北陸	○1	○	○始									30 ml/a	○	○	○	○	2	
		関東東海	早普											30 ml/a						
		近畿中国	早普											30 ml/a						
		四国	早普											30 ml/a						
		九州	早普											30 ml/a						
														30 ml/a						
														30 ml/a						
														30 ml/a						
														30 ml/a						
														30 ml/a						

II-3 移植後土壌処理

II-3-(1) (従来通り)

II-3-(1) HSW-991 7077g/l 「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マハイ	ホトメ	ウリカ	ミヤガ	ヘラオモ	クログ	オモカ	ヒルムシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減深	使用上の注意
II-3-(1) KH-183 粒	土壌処理	北海道	○1.5	○	○始			○始				○始	+3~+7 (/ハ・エIL)	300 g/a	○	○	○	○	2	
		東北	○1.5	○	○始			○前				○始		300 g/a	○	○	○	○		
		北陸	○1.5	○	○始			○前				●始		300 g/a	○	○	○	○		
		関東東海	早普	○1.5	○	●始						●始		300 g/a	○	○	○	○		
		近畿中国	早普	○1.5	○	○始						○始		300 g/a	○	○	○	○		
		四国	早普	○1.5	○	○始						○始		300 g/a	○	○	○	○		
		九州	早普	○1.5	○	○始						●始		300 g/a	○	○	○	○		
														300 g/a	○	○	○	○		
														300 g/a	○	○	○	○		
														300 g/a	○	○	○	○		
														300 g/a	○	○	○	○		
														300 g/a	○	○	○	○		

II-3-(2) (一発処理剤の前処理)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マハイ	ホトメ	ウリカ	ミヤガ	ヘラオモ	クログ	オモカ	ヒルムシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減深	使用上の注意
II-3-(2)少量 KHU-958 7077g/l	土壌処理	北海道	○1	○	○始								+0~+5 (/ハ・エIL)	30 ml/a	○	○	○	○	2	一発処理型除草剤として少量散布(30ml/a)が可能。
		東北	○1	○	○始	○前								30 ml/a	○	○	○	○	1.5	
		北陸	○1	○	○始	○始								30 ml/a	○	○	○	○		
		関東東海	早普	○1	○	○始	○始							30 ml/a			○	○	1	
		早普	○1	○	○始	○始								30 ml/a	○	○	○	○	2	
		近畿中国	早普	○1	○	○始	○始							30 ml/a	○	○	○	○	1.5	
		早普	○1	○	○始	○始								30 ml/a	○	○	○	○		
		四国	早普	○1	○	○始	○始							30 ml/a	○	○	○	○		
		早普	○1	○	○始	○始								30 ml/a	○	○	○	○		
		九州	早普	○1	○	○始	○始							30 ml/a	○	○	○	○	2	
		早普	○1	○	○始	○始								30 ml/a	○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホタル	クワカ	ミヤ カ・ヤ グリ	ヘラモ タ・カ	クロク ワイ	オモク カ	ヒルムシ ロ	養類 表剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	埋 土 1.5	埋 土 1.5	埋 土 1.5	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-3-(2) 少量 SL-970 7077' #	北海道	前	○	○	○	○							+0~+5 (ハ・エ 1 始)	30 ml/a	○	○	○	○	2	一発処理型 の 前 で 除 草 剤 を 使 用 し て 少 量 散 布 す る (30ml/a) が 可 能。
	東北	○	○	○	○	○							+0~+5 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	1.5	
	北陸	○	○	○	○	○							+0~+5 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	2	
	関東 東海	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+0~+5 (ハ・エ 1 始)		●	●	○	○	1	
	近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+0~+5 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+0~+5 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	1.5	
	四国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+0~+5 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○		
	九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+0~+5 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○		
	九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+0~+5 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○		
	九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+0~+5 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○		

II-5 適用時期拡大

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホタル	クワカ	ミヤ カ・ヤ グリ	ヘラモ タ・カ	クロク ワイ	オモク カ	ヒルムシ ロ	養類 表剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	埋 土 1.5	埋 土 1.5	埋 土 1.5	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 DEH-112-1kg 粒	北海道	前	○	○	○	○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)	100 ~150 g/a	○	○	○	○	2	(2 1) (4 7) 5cm程度の 水深で使 用する
	東北	○	○	○	○	○							+15~+30 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○		
	北陸	○	○	○	○	○							+15~+30 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○		
	関東 東海	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)	100 g/ha 3L/ha	○	○	○	○	1	
	近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	1.5	
	四国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	2	
	九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	1.5	
	九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	2	
	九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホタル	クワカ	ミヤ カ・ヤ グリ	ヘラモ タ・カ	クロク ワイ	オモク カ	ヒルムシ ロ	養類 表剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	埋 土 1.5	埋 土 1.5	埋 土 1.5	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 KUH-983-1kg 粒	北海道	前	○	○	○	○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)	100 g/a	○	○	○	○	2	(2 1)
	東北	○	○	○	○	○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○		
	北陸	○	○	○	○	○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	1.5	
	関東 東海	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○		
	近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	1.5	
	四国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	2	
	九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	1.5	
	九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○		
	九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○							+15~+35 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○		

II-5 SB-551-1kg 粒「籾」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホタル	クワカ	ミヤ カ・ヤ グリ	ヘラモ タ・カ	クロク ワイ	オモク カ	ヒルムシ ロ	養類 表剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	埋 土 1.5	埋 土 1.5	埋 土 1.5	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 SW-973-1kg 粒 II-6-(2) II-6-(7) II-6-(10) を併用	北海道	前	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+20~+30 (ハ・エ 1 始)	100 g/a	○	○	○	○	2	(1) (8) (9) (2 1) (3 8) (4 0) (4 2)
	東北	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+20~+30 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	1.5	
	北陸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+20~+30 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	2	
	関東 東海	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	+20~+30 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	1	
	近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	+20~+30 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	+20~+30 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	1.5	
	四国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	+20~+30 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	2	
	九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	+20~+30 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○	1.5	
	九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	+20~+30 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○		
	九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	+20~+30 (ハ・エ 1 始)		○	○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北・関東・東海～四国)

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉 アハイ	ホリイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラモ ダガ	クロガ ワイ	モダ ガ	ヒムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-5 VII-591-1kg 粒	基葉 堆肥 処理	北海道		○3	○	○2	○2						○始		+20~+30 (イ75L以降, /ビ 13Lまで)	100 g/a	○	○	○	○	2	(1) (8) (9) (21)
		東北		○3	○	○2	○始	○始									○	○	○	○	1.5	
		北陸		○3	○	○2	○2	○始					○前				○	○	○	○	2	
		関東 東海	早	○3	○	○3	○3	○3					○始		+20~+30 (イ75L以降, /ビ 13Lまで)		○	○	○	○	1	
			普	○3	○	○3	○3	○3					○始		+20~+25 (イ75L以降, /ビ 13Lまで)		○	○	○	○	2	
		近畿 中国	早	●2.5	●	●2	●3	●3					●始		+20~+30 (イ75L以降, /ビ 12.5Lまで)		●	●	●	●	1.5	
			普	○3	○	○3	○3	○3					○始		+20~+30 (イ75L以降, /ビ 13Lまで)		○	○	○	○	1	
		四国	早	●2.5	●	●2	●3	●3					●始		(イ75L以降, /ビ 12.5Lまで)		●	●	●	●	1.5	
			普	○3	○	○3	○3	○3					○始		+20~+30 (イ75L以降, /ビ 13Lまで)		○	○	○	○	1	
		九州	早																			
			普																			

II-6-(1) クログワイ対象

II-6-(1) HJ-943-1kg 粒「実・継」 VII-2参照

II-6-(1) KPP-932 70777 粒「実・継」 VII-1の使用基準に併用

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉 アハイ	ホリイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラモ ダガ	クロガ ワイ	モダ ガ	ヒムシ ロ	藻類 剥離	シ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-1 KPP-932 70777 粒	土壌 処理	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○	○前	○再	+0~+11.5L	50 ml/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (40) (42)
		東北		○1.5	○	○2	○2	○2	○2	●前	●前	○	○前	○再			○	○	○	○		
		北陸		○1.5	○	○2	○2	○2	○2			○		○再			○	○	○	○		
		関東 東海	早	○1.5	○	○2	○始	○2				○	○前	○再			○	○	○	○		
			普	○1.5	○	○2	○始	○2		●始	●前	○	○前	○再			○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○	○前	○再			○	○	○	○	1	
			普	○1.5	○	○始	○始	○始				○	○前	○再			○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○	○前	○再			○	○	○	○	1	
			普	○1.5	○	○始	○始	○始				○	○前	○再			○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○1.5	○	○2	○始	○2				○	○前	○再			○	○	○	○		
			普	○1.5	○	○2	○始	○2				○	○前	○再			○	○	○	○	2	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北、関東・東海)
 モモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北、関東・東海)

II-6-(1) KUH-958 70777 粒「実・継」 II-3-(1)の使用基準に併用

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉 アハイ	ホリイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラモ ダガ	クロガ ワイ	モダ ガ	ヒムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-3-(1) KUH-958 70777 粒	土壌 処理	北海道		○1	○	○始									植代後~+4, +0~+5(/ビ 11L)	50 ml/a	○	○	○	○	2	(5) (42)
		東北		○1	○	○始		○前	○始	●前					植代後~+4, +0~+7(/ビ 11L)		○	○	○	○	1.5	
		北陸		○1	○	○始		○始							植代後~+4, +0~+8(/ビ 11L)		○	○	○	○	2	
		関東 東海	早	○1	○	○始		○始							+0~+5 (/ビ 11L)		○	○	○	○	1	
			普	○1	○	○始		○始		●前							○	○	○	○	2	
		近畿 中国	早	○1	○	○始		○始							植代後~+4, +0~+5 (/ビ 11L)		○	○	○	○	1	
			普	○1	○	○始		○始									○	○	○	○	2	
		四国	早	○1	○	○始		○始									○	○	○	○	1	
			普	○1	○	○始		○始							(但し植代後 ~+4は 早期を除く)		○	○	○	○	2	
		九州	早	○1	○	○始		○始									○	○	○	○	1.5	
			普	○1	○	○始		○始									○	○	○	○	2	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北、関東・東海)

II-6-(1) MY-100TS 70777 粒「実・継」 VII-2参照

II-6-(1) NBA-076a-1kg 粒「実・継」 VII-1参照

II-6-(1) NBA-076b-1kg 粒「実・継」 VII-1参照

II-6-(1) NBA-096a 70777 粒「実・継」 VII-1参照

II-6-(1) NBA-096b 70777 粒「実・継」 VII-1参照

II-6-(1) NC-339-1kg 粒「継」

II-6-(1) SB-528 7077g 粒「実・継」 II-2-(1)の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	オキイ	ウリカ	ミヤ カグ	ヘラオ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	葉 表 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	植 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
II-2-(1) SB-528 7077g 粒 II-6-(5) II-6-(8) を併用	北海道	早	○	○	○	始			○	始				植代後～4, +0～+5 (ハ・エIL)	50 ml/a	○	○	○	○	2	(5) (13) (36) (40) (42)
	東北	早	○	○	○	始			○	始	○	前		●**		○	○	○	○		
	北陸	早	○	○	○	始			○	始	○	始				○	○	○	○		
	関東 東海	早	○	○	○	始			○	始						○	○	○	○	1	水口処理 可能 (北海道、 東北、関東、 東海～九州)
		普	○	○	○	始			○	始		○	前			○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	○	○	○	始			○	始						○	○	○	○	1	口植同時 散布可能 (関東・東海 ～四国)
		普	○	○	○	始			○	始		○	前			○	○	○	○	2	
	四国	早	○	○	○	始			○	始				*コリヤカ ：発生始 **シイ ：発生前		○	○	○	○	1	
		普	○	○	○	始			○	始		○	前			○	○	○	○	2	
	九州	早	○	○	○	始			○	始						○	○	○	○	1.5	
		普	○	○	○	始			○	始		○	前			○	○	○	○		
													○*								

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北、関東・東海～九州)

II-6-(2) オモダカ対象

II-6-(2) CH-906 1kg 粒「実・継」 VII-2の使用基準に併用

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	オキイ	ウリカ	ミヤ カグ	ヘラオ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	葉 表 剥 離	セリ		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	植 土	減 深 cm/d	使用上の 注意				
VII-2 CH-906 1kg 粒	北 東 東 中 国 四 国 九 州	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州											発生 前	再生 前		+5～ハ・エ2.5L	100 g/a						(34) (36) (38) (41) (42)				
			北陸	○	2.5	○	○	2	○	2	○	2	○	2	○			前	○	前	○	始			2		
			関東 東海	早	○	2.5	○	○	2	○	2	○	2	○	2			○	前	○	前	○	始				
				普	○	2.5	○	○	2	○	2	○	2	○	2			○	始	○	始	○	前	○	始		
			近畿 中国	早	○	2.5	○	○	2	○	2	○	2	○	2			○	前	○	前	○	始				
				普	○	2.5	○	○	2	○	2	○	2	○	2			○	前	○	前	○	始				
			四国	早	○	2.5	○	○	2	○	2	○	2	○	2			○	前	○	前	○	始				
				普	○	2.5	○	○	2	○	2	○	2	○	2			○	前	○	前	○	始				
			九州	早	○	2.5	○	○	2	○	2	○	2	○	2			○	前	○	前	○	始				
				普	○	2.5	○	○	2	○	2	○	2	○	2			○	始	○	始	○	前	○	始		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東・東海、九州)

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(北陸、関東・東海～九州)

II-6-(2) DIN-971 7077g 粒「継」

II-6-(2) HJ-943-1kg 粒「実・継」 VII-2 参照

II-6-(2) KPP-932 7077g 粒「実・継」 II-6-(1) 参照

II-6-(2) MY-100DC 7077g 粒「継」

II-6-(2) MY-100TS 7077g 粒「実・継」 VII-2 参照

II-6-(2) NBA-076a-1kg 粒「実・継」 VII-1 参照

II-6-(2) NBA-076b-1kg 粒「実・継」 VII-1 参照

II-6-(2) NBA-096a 7077g 粒「実・継」 VII-1 参照

II-6-(2) NBA-096b 7077g 粒「実・継」 VII-1 参照

II-6-(2) NBA-941-1kg 粒「実・継」 VII-2の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	オキイ	ウリカ	ミヤ カグ	ヘラオ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	葉 表 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	植 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NBA-941 1kg 粒 NBA-941 1kg 粒 を併用	北海道	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+5～ハ・エ3L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (38) (40)
	東北	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
	北陸	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*エリノサキカグサ ：2L ***シイ ：発生始、最大3cm ***コリヤカ ：子葉期		○	○	○	○		
	関東 東海	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
		普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+5～ハ・エ2.5L		○	○	○	○	1	
		普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+5～ハ・エ3L		○	○	○	○	2	
	四国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+5～ハ・エ2.5L		○	○	○	○	1	
		普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+5～ハ・エ3L		○	○	○	○	2	
	九州	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
		普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
													○*								

II-6-(2) NC-339-1kg 粒「継」

II-6-(2) SW-973-1kg 粒「実・継」 II-5参照

II-6-(5) シズイ対象

II-6-(5) KPP-932 7077^g 粒「実・継」 II-6-(1)参照II-6-(5) MY-100DC 7077^g 粒「実・継」 VII-2参照II-6-(5) NBA-096a 7077^g 粒「実・継」 VII-1参照

II-6-(5) NC-339-1kg 粒「実・継」 VII-2参照

II-6-(5) SB-528 7077^g 粒「実・継」 II-6-(1)参照

II-6-(6) エソノサヤヌカグサ対象

II-6-(6) DHN-971 7077^g 粒「実・継」 VII-2参照II-6-(6) MY-100DC 7077^g 粒「実・継」 VII-2参照II-6-(6) SB-556 7077^g 粒「実・継」 VII-2参照

II-6-(7) クサネム対象

II-6-(7) SW-973-1kg 粒「実・継」 II-5参照

II-6-(7) KUH-911 液「実・継」

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラオ ダカ	クロウ タイ	オモガ カ	ヒルム シロ	葉 表 剥 離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-6-(7)として KUH-911 液剤	北海道												2.5 ~5 ml/a (散布 10 g/a)						(12)
	東北																		
	北陸																		
	関東 東海	早 普										○*							
	近畿 中国	早 普										●*	*クサネム :関東・東海 草丈40cm以下 (+35~+50) :近畿・中国・ 四国 草丈15cm以下						
	四国	早 普										●*							
	九州	早 普																	

II-6-(8) コウキヤガラ対象

II-6-(8) KPP-2005^g 7077^g 粒「実・継」 II-2の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラオ ダカ	クロウ タイ	オモガ カ	ヒルム シロ	葉 表 剥 離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-2-(2)少量 KPP-2005 ^g 7077 ^g 粒	北海道	○1	○	○始								+0~+5(/t IIL)	30 ml/a	○	○	○	○	2	(36)
	東北	○1	○	○始	○前							植代後~4, +0~+5 (/t IIL)		○	○	○	○	1.5	一発処理型 除草剤の前 処理として 少量散布 (30ml/a)が 可能。
	北陸	○1	○	○始	○始									○	○	○	○	2	
	関東 東海	早 普	○1 ○	○始 ○始	○始 ○始											○	○	1	
	近畿 中国	早 普	○1 ○	○始 ○始	○始 ○始										○	○	○	1.5	
	四国	早 普	○1 ○	○始 ○始	○始 ○始										○	○	○	1.5	
	九州	早 普	○1 ○	○始 ○始	○始 ○始									○	○	○	○	2	
														○	○	○	○	1.5	
														○	○	○	○	2	
														○	○	○	○	1.5	

II-6-(8) MY-100DC^g 7077^g 粒「実・継」 VII-2参照II-6-(8) SB-528 7077^g 粒「実・継」 II-6-(1)参照

II-6-(9) キシュウズメノヒエ対象

II-6-(9) DEH-112 乳(EW) 「実・継」 II-5の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホタルイ	ワリワリ	ミヤ ガヤ グ	ヘラオモ ダカ	クログ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	キシュ ウス メ ノ ヒエ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 I. DEH-112 乳(EW)	北海道	〇	5										+25~+40 (/ヒ 12L~5L)	10 ml/a 注)	〇	〇	〇	〇	2	{ 2 } { 4 } 使用直前に 希釈する。
	東北	〇	5										+25~+40 (/ヒ 13L~5L)		〇	〇	〇	〇		
	北陸	〇	5												〇	〇	〇	〇		
	関東 東海	早 普	〇 5											〇*	〇	〇	〇	〇		
	近畿 中国	早 普	〇 5										+25~+40 (/ヒ 12.5L~5L)	〇*	〇	〇	〇	〇	1	
													+25~+40 (/ヒ 13L~5L)		〇	〇	〇	〇	1.5	
	四国	早 普	〇 5										+25~+40 (/ヒ 12.5L~5L)	〇*	〇	〇	〇	〇	1	
															〇	〇	〇	〇	1.5	
	九州	早 普	〇 5										+25~+50 (/ヒ 12L~5L)	〇*	〇	〇	〇	〇	2	
															〇	〇	〇	〇		

注) 散布液量2.5~10e/a だし、2.5~5e 散布は少量散布用ノズルを使用、展着剤加用

* 再生茎3~6葉期(関東・東海~九州)、畦畔からの匍匐茎1m以内(関東・東海~九州)

畦畔からの侵入個体には全体にかける。(関東・東海~九州)

II-6-(9) DEH-BAS 乳(ME) 「実・継」 II-5の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホタルイ	ワリワリ	ミヤ ガヤ グ	ヘラオモ ダカ	クログ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	キシュ ウス メ ノ ヒエ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 DEH-BAS 乳(ME)	北海道	〇	5	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	+25~+40 (/ヒ 12L~5L)	100 ml/a 注)	〇	〇	〇	〇	2	{ 6 } { 10 } { 11 } { 12 } { 21 } { 36 } { 40 } { 49 }
	東北	〇	5	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	+25~+40 (/ヒ 13L~5L)		〇	〇	〇	〇		
	北陸	〇	5	〇	〇*	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇		
	関東 東海	早 普	〇 5	〇	〇*	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	+25~+50 (/ヒ 13L~5L)	〇*	〇	〇	〇	〇		
													+25~+40 (/ヒ 12.5L~4.5L)		〇	〇	〇	〇		
	近畿 中国	早 普	〇 5	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	+25~+40 (/ヒ 12.5L~5L)	〇*	〇	〇	〇	〇	1	
													+25~+40 (/ヒ 12.5L~4.5L)		〇	〇	〇	〇	1.5	
	四国	早 普	〇 5	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	+25~+40 (/ヒ 12.5L~4.5L)	〇*	〇	〇	〇	〇	1	
													+25~+40 (/ヒ 12.5L~5L)		〇	〇	〇	〇	1.5	
	九州	早 普	〇 5	〇	〇*	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	+25~+50 (/ヒ 12L~5L)	〇*	〇	〇	〇	〇	2	
															〇	〇	〇	〇		

*: 花茎抽出始 ** : ①シズイ 草丈5cm程度, ②コウキヤガラ 発生盛期 *** : エソノサヤマカグサ 発生始~4L

☆: キシュウズメノヒエ 再生茎3~6葉期, 畦畔からの匍匐茎1m以内(関東・東海~九州)

畦畔からの侵入個体には全体にかける。(関東・東海~九州)

クログワイ防除は、クログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用。(東北、関東・東海~九州)

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東・東海~九州)

オモダカ防除は、オモダカに有効な前処理剤との組み合わせで使用。(東北~関東・東海、九州)

II-6-(9) SW-973-1kg 粒「継」

II-6-(10) その他

II-6-(10) SW-973-1kg 粒「実・継」 II-5参照

III 直播栽培

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホタルイ	ワリワリ	ミヤ ガヤ グ	ヘラオモ ダカ	クログ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	キシュ ウス メ ノ ヒエ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
III AGH-925-1kg 粒	北海道	〇	3	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	11L~12L 13L	100 g/a			〇	〇	2	11の根が 腐出する 発生を 生ずる。
	東北	〇	3	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇					〇	〇	1.5	
	北陸	〇	3	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇					〇	〇	1	
	関東 東海	〇	3	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	11.5L~ 12L 13L			〇	〇	〇	2	湛水直播 (北海道 ~北陸、 九州)
	近畿 中国	〇	3	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	11L~12L 13L			〇	〇	〇	1	
	四国	〇	3	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇				〇	〇	〇		
	九州	〇	3	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇					〇	〇		

	処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マハ	ネカリ	ウリカ	ミヤ カ	ヘラオ ダ	クロ カ	オモ カ	ヒルム シ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	堆 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ CDS-941 7077%	葉菜系土壌処理	北海道													1/21.5L ~1/22.5L	50 ml/a						この根が 出でるは生 腐糸を害す。 湛水直播
		東北		●2.5	●	●2			●2										●	●	1.5	
		北陸																				
		関東 東海																				
		近畿 中国																				
		四国																				
		九州																				

	処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マハ	ネカリ	ウリカ	ミヤ カ	ヘラオ ダ	クロ カ	オモ カ	ヒルム シ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	堆 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ CDS-941(L) 7077%	葉菜系土壌処理	北海道													1/21.5L ~1/22.5L	50 ml/a						この根が 出でるは生 腐糸を害す。
		東北																				
		北陸																				
		関東 東海		●2.5	●	●2												●	●	●	1.5	
		近畿 中国		●2.5	●	●2		●2										●	●	●	1	
		四国		●2.5	●	●2		●2										●	●	●		
		九州																				

	処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マハ	ネカリ	ウリカ	ミヤ カ	ヘラオ ダ	クロ カ	オモ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	ミ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	堆 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ NBA-941-1kg 粒	葉菜系土壌処理	北海道											発生	再生	1/21.5L ~1/213L	100 g/a						この根が 出でるは生 腐糸を害す。 湛水直播 (関東・東海、 九州)
		東北		○3	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前					○	○	1	
		北陸		●3	●	●2	●2	●2						始					●	●		
		関東 東海		○3	○	○2													○	○		
		近畿 中国		○3	○	○2		○2						○再生 前~始				○	○	○		
		四国		○3	○	○2		○2										○	○	○		
		九州		○3	○	○2	○2	○2											○		1.5	

	処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マハ	ネカリ	ウリカ	ミヤ カ	ヘラオ ダ	クロ カ	オモ カ	ヒルム シ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	堆 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ NBA-942a-1kg 粒	葉菜系土壌処理	北海道													1/21.5L ~1/213L	100 g/a						この根が 出でるは生 腐糸を害す。
		東北		●3	●	●2		●2	●2										●	●	1	
		北陸																				
		関東 東海																				
		近畿 中国																				
		四国																				
		九州																				

	処理法	地域名	作期	バ'エ	一年広葉マハイ	ネタノイ	ウリカ	ミ'ヤ	ヘ'オモ	クロ'ウ	オモ'カ	ヒ'ルム	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅲ NBA-942b-1kg粒	茎葉兼土壌処理	北海道														100 g/a						イネの根が腐敗する。 湛水直播(関東・東海、九州)
		東北																				
		北陸		●3	●	●2	●2	●2							イネ1L~1/2L			●	●	1		
		関東東海		●3	●	●2		●2						再生始			●	●	●	2		
		近畿中国		○3	○	○2		○2						○始			○	○	○	1		
		四国		○3	○	○2		○2						○始			○	○	○			
		九州		●3	●	●2	●2	●2										●	●	1.5		

Ⅲ SW-973-1kg 粒「籾」

Ⅲ TCG-128 乳「籾」

	処理法	地域名	作期	バ'エ	一年広葉マハイ	ネタノイ	ウリカ	ミ'ヤ	ヘ'オモ	クロ'ウ	オモ'カ	ヒ'ルム	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅲ モリネ-TSM-1kg粒	茎葉兼土壌処理	北海道														100 g/a						(8) (2)1 湛水直播(北陸、近畿、中国、四国)
		東北		○3	○	○2									イネ5L8割、1/2L +30~+45 (イネ6L8割、1/2L			○	○	1.5		
		北陸		○3	○	○2									イネ5L~ 1/2L			○	○	1		
		関東東海		○3.5	○	○3									イネ5L~ 1/2L			○	○	2		
		近畿中国		○3.5	○	○始												○	○	1		
		四国		○3.5	○	○始												○	○			
		九州																				

	処理法	地域名	作期	バ'エ	一年 広葉マハイ	ホタテ	ウリカ	ミ カヤ	ヘラオモ タ'カ	クロ ウイ	オモ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減 水深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ KUII-931-1kg 粒	茎葉兼土壌処理	北海道										発 生期		再 生 前 〇	イネ1.5L 〜バ'エ13L	100 g/a						イネの根が腐敗する。 湛水直播
		東北	〇3	〇	〇2	〇2	〇2	〇2			〇期	〇前 〜始						〇	〇	1.5		
		北陸																				
		関東 東海																				
		近畿 中国																				
		四国																				
		九州																				

	処理法	地域名	作期	バ'エ	一年広葉マハイ	ネタノイ	ウリカ	ミ'ヤ	ヘ'オモ	クロ'ウ	オモ'カ	ヒ'ルム	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅲ KUII-936B-1kg粒	茎葉兼土壌処理	北海道														100 g/a						イネの根が腐敗する。 湛水直播
		東北																				
		北陸		○3	○	○2	○2	○2							イネ1L~1/2L			○	○	1		
		関東東海		○3	○	○2												○	○	2		
		近畿中国		○3	○	○2		○2						○再生前~ ○始				○	○	1.5		
		四国		○3	○	○2		○2										○	○			
		九州		○2.5	○			○2							イネ1L~ 1/2L		○	○	○	2		

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起直播 WOC-01 液	北海道	●	播種前10日～ 播種後7日(1株出芽前)	25～50ml/a(水量5ℓ/a)	全土壌	(25) 乾田条件で使用 する。
	東 北	●	一年生雑草			
	北 陸	●	一年生雑草			
	関東・東海	●	一年生雑草			
	近畿・中国	●	全草種			
	四 国	●	全草種			
	九 州	●	全草種			

不耕起直播 フタコ-乳「雑」

IV 畦畔雑草

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV CG-231GT 7077ℓ 液	北海道	●	雑草生育期 (草丈30cm以下)	50～100ml/a(水量10ℓ/a)	全土壌	(23) (24)
	東 北	●				
	北 陸	●				
	関東・東海	●				
	近畿・中国	●				
	四 国	●				
	九 州	●				

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV MON-96A 液	北海道	○	雑草生育期 (草丈30cm以下)	25～50ml/a (2.5ℓ・5～10ℓ/a ただし2.5ℓ散布は 専用ノズルを使用)	全土壌	(23) (24)
	東 北	○				
	北 陸	○				
	関東・東海	○				
	近畿・中国	○				
	四 国	○				
	九 州	○				

IV NH-007 7077ℓ 「雑」

IV SUM-99 7077ℓ 「雑」

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV SW-995 7077ℓ 液	北海道	●	雑草生育期又は 刈取後再生期 (草丈20cm以下)	40～80ml/a(水量10ℓ/a)	全土壌	(24) 年一回使用 (近畿・中国、四国)
	東 北	●		60～80ml/a(水量10ℓ/a)		
	北 陸	●		40～80ml/a(水量10ℓ/a)		
	関東・東海	●				
	近畿・中国	●				
	四 国	●				
	九 州	●		60～80ml/a(水量10ℓ/a)		

V 耕起前

V NH-007 7077ℓ 「雑」

V ZK-121 液 「雑」

VI 休耕田

VI NH-501 7077ℓ 「雑」

VII-1 初期一発処理剤

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ネグ リ	ミ ガ リ	ヘラ モ タ	クロ グ ワ	オモ ダ	ヒル ム シ	葉 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 主	壤 土	堆 土	埋 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 AGII-975 7077 [※]	土壌処理	北海道	○1.5	○	○始	○2							+0~ハ・エ1.5L	50 ml/a	1.5 ●	○	○	○	2	(34)
		東北	○1.5	○	○2	○始	○始	○始							1.5 ●	○	○	○		田植同時 散布可能 (東北・東海 ~九州)
		北陸	○1.5	○	○2	○始	○始	●始							1 ●	○	○	○	1.5	
		関東 東海	早 ●1.5	●	●始	●始	●始								1 ●	○	○	○	2	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始								●	○	○	○		
		近畿 中国	早 ○1.5	○	○始	○前	○前									○	○	○	1.5	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始									○	○	○		
		四国	早 ○1.5	○	○始	○前	○前									○	○	○		
		普	○1.5	○	○始	○始	○始									○	○	○		
		九州	早 ○1.5	○	○始	○始	○始								●	○	○	○		
		普	○1.5	○	○始	○始	○始								○	○	○	○	2	

VII-1 HSW-001 7077[※]「継」

VII-1 KPP-2009-1kg 粒「継」

VII-1 KPP-2009^①-1kg 粒「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ネグ リ	ミ ガ リ	ヘラ モ タ	クロ グ ワ	オモ ダ	ヒル ム シ	葉 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 主	壤 土	堆 土	埋 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 NBA-076a-1kg 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	土壌処理	北海道	○2	○	○2	○2			●前	○発	○前	○再	+0~ハ・エ2L	100 g/a	1.5 ●	○	○	○	2	(38) (42)
		東北	○2	○	○2	●始	○2	○2	●前	●始	○期	○前			○	○	○	○	1.5	田植同時 散布可能
		北陸										始								
		関東 東海	早										*エリノサヤサグサ 2L **スズイ 発生始~収3cm							
		普																		
		近畿 中国	早																	
		普																		
		四国	早																	
		普																		
		九州	早																	
		普																		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ネグ リ	ミ ガ リ	ヘラ モ タ	クロ グ ワ	オモ ダ	ヒル ム シ	葉 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 主	壤 土	堆 土	埋 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 NBA-076b-1kg 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	土壌処理	北海道										再生 前		100 g/a						(28) (34) (38) (42)
		東北																		
		北陸	○2	○	○2	○2	○2					○始	+0~ハ・エ2L		1 ○	○	○	○	2	田植同時 散布可能
		関東 東海	早 ○2	○	○2	○2	○2				○発	○再			○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2	●始	●始	○期	○前	○前			○	○	○	○		
		近畿 中国	早 ○2	○	○2	○2	○2			○発	○前	○始			○	○	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2			○期	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
		四国	早 ○2	○	○2	○2	○2			○発	○前	○再			○	○	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2			○期	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
		九州	早 ○2	○	○2	○始	○2			○発	○前	○始			○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○始	○2	●始	●始	○期	○前	○前			○	○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海、九州)

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海、九州)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ホタテ	ウリカ	ミ ガ リ	ヘ ラ タ カ	クロ グ ワイ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	莖 葉 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 NBA-096a 7077 [※] II-6-(1) II-6-(2) II-6-(5) を併用	北海道		○ 2	○	○ 2	○ 2				●前	○発	○前	○再	+0~1/2 EL	50 ml/a	1.5	○	○	○	2	(38) (40) (42)
	東北		○ 2	○	○ 2	○始	○始	○ 2	●前	●前	○期	○前	○前			○	○	○	1.5		田植同時 散布可能
	北陸												始								
	関東 東海	早																			
	近畿 中国	早																			
	四国	早																			
	九州	早																			
		普																			

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ホタテ	ウリカ	ミ ガ リ	ヘ ラ タ カ	クロ グ ワイ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	莖 葉 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 NBA-096b 7077 [※] II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道												再	+0~1/2 EL	50 ml/a						(28) (34) (38) (42)
	東北												再								
	北陸		○ 2	○	○ 2	○始	○始					●前	○始			●	●	○	○	2	田植同時 散布可能 (関東・東海 ・九州)
	関東 東海	早	○ 2	○	○始	○始	○ 2			○発	○前	○前	○再			●	●	○	○	1	
	近畿 中国	早	○ 2	○	○始	○始	○ 2	●始	●始	○発	○前	○前	○再			○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2			●発	○期	○前	○始			○	○	○	○		
	九州	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2			●発	○期	○前	○再			○	○	○	○		
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2			●発	○期	○前	○再			○	○	○	○	2	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海、九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海、九州)

VII-1 NC-385SB 顆粒水和「継」

VII-1 NC-397-1kg 粒「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ホタテ	ウリカ	ミ ガ リ	ヘ ラ タ カ	クロ グ ワイ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	莖 葉 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 PSS-D-1kg 粒	北海道													+0~1/2 EL	100 g/a	1.5	○	○	○	2	(3) (28) (34)
	東北		○ 2	○	○ 2	○始	○始	○始			○発	○前	○前			○	○	○	○		
	北陸		○ 2	○	○ 2	○始	○始				○発	○前	○前			○	○	○	○		
	関東 東海	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2				○発	○前	○前			○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2				○発	○前	○前			○	○	○	○	1	
	四国	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2				○発	○前	○再			○	○	○	○	2	
	九州	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2				○発	○前	○始			○	○	○	○	2	
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2				○期	○前	○前			○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ホタテ	ウリカ	ミ ガ リ	ヘ ラ タ カ	クロ グ ワイ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	莖 葉 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
IX SB-533 7077 [※] 土壌処理	北海道		○ 1.5	○	○始			○始						+0~1/2 EL	50 ml/a	1.5	○	○	○	2	(34) (41)
	東北		○ 1.5	○	○始	●前										○	○	○	○		水口処理 可能
	北陸		○ 1.5	○	○始	●前										○	○	○	○		
	関東 東海	早	○ 1.5	○	○始											○	○	○	○	1	
	近畿 中国	早	○ 1.5	○	○始	○始										○	○	○	○	2	
	四国	早	○ 1.5	○	○始	○始										○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○ 1.5	○	○始	○始										○	○	○	○		
		普	○ 1.5	○	○始											○	○	○	○	2	

VII-1 AVII-002-1kg 粒「継」

VII-1 NBA-126a-1kg 粒「継」

VII-2 初・中期一発処理剤

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マナ'イ	ホタルイ	ウリカワ	ミ'カ'ヤ アリ	ヘ'オモ ダ'カ	クロ'グ ワイ	オモ'ガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	堆 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 AGH-925-1kg 粒	某菜 菜土壌 処理	北海道	○ 3	○	○ 2	○ 2		○ 2			○ 発生 期	○ 前	○ 再 生	+5~ノ'E 13L	100 g/a	○	○	○	○ 2		(34) (41)
		東北	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2			○ 発生 期	○ 前	○ 再 生	但し北海道 関東・東海 砂壌土は 2.5L		○	○	○	1.5		
		北陸	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○	2		
		関東 東海	早 ○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 再 生			○	○	○	1		
		普	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 再 生			○	○	○	2		
		近畿 中国	早 ○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○	1		
		普	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○	2		
		四国	早 ○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 再 生			○	○	○	1		
		普	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 再 生			○	○	○	2		
		九州	早 ○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○			
		普	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○			

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マナ'イ	ホタルイ	ウリカワ	ミ'カ'ヤ アリ	ヘ'オモ ダ'カ	クロ'グ ワイ	オモ'ガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	堆 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 CDS-941 7077' 粒	某菜 菜土壌 処理	北海道	○ 2.5	○	○ 2	○ 2		○ 2		○ 前	○ 発生 期	○ 前	○ 再 生	+3~ノ'E 12.5L	50 ml/a	○	○	○	○ 2		(36) (38) (40) (42)
		東北	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 前	○ 前	○ 発生 期	● 前	○ 前	00**		○	○	○			水口処理 可能
		北陸											始								
		関東 東海	早 ○ 3																		
		普																			
		近畿 中国	早 ○ 3																		
		普																			
		四国	早 ○ 3																		
		普																			
		九州	早 ○ 3																		
		普																			

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マナ'イ	ホタルイ	ウリカワ	ミ'カ'ヤ アリ	ヘ'オモ ダ'カ	クロ'グ ワイ	オモ'ガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	堆 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 DIN-971 7077' 粒	某菜 菜土壌 処理	北海道	○ 2.5	○	○ 2	○ 2					○ 発生 期	○ 前	○ 再 生	+0~ノ'E 12.5L	50 ml/a	○	○	○	○ 2		
		東北	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2			○ 発生 期	○ 前	○ 前			○	○	○			
		北陸											始								
		関東 東海	早 ○ 3																		
		普																			
		近畿 中国	早 ○ 3																		
		普																			
		四国	早 ○ 3																		
		普																			
		九州	早 ○ 3																		
		普																			

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マナ'イ	ホタルイ	ウリカワ	ミ'カ'ヤ アリ	ヘ'オモ ダ'カ	クロ'グ ワイ	オモ'ガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	堆 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 DIN-971(L) 7077' 粒	某菜 菜土壌 処理	北海道											再 生		50 ml/a						(28) (34)
		東北											前								
		北陸	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2					○ 前	○ 始	+0~ノ'E 12.5L		○	○	○	○ 2		*砂壌土は +5~ (近畿・中国・ 四国)
		関東 東海	早 ○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 再 生			○	○	○			
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 再 生			○	○	○			
		近畿 中国	早 ○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○	1.5		
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			●*	○	○			
		四国	早 ○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 再 生			●*	○	○			
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 再 生			○	○	○			
		九州	早 ○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○	2		
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生 期	○ 前	○ 始			○	○	○			

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	ネタ'イ	ウリカ'イ	ミ'カ'イ	ヘ'オモ ダ'カ	クロ'イ	オモ'カ	ヒル'シ ロ	葉 類 腐 離	セ'イ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 HJ-943-1kg 粒 Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(2) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○2	○2		○2		○	○	○	+5~7' I2.5L	100 g/a			○	○	2	(28) (34) (38)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2		●	●	○	○	○				○	○	○	1.5	(42)
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2			●	○	○	○					○	○	1	
	関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○	○				○	○	○		
	東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2		●	●	○	○	○				○	○	○	2	
	近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○	○				○	○	○	1	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2		●	●	○	○	○				○	○	○	1.5	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○	○				○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		●	●	○	○	○				○	○	○	1.5	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○	○				○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		●	●	○	○	○				○	○	○	1.5	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北・関東・東海~九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北~九州)

VII-2 HOK-204-1kg 粒「籾」

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	ネタ'イ	ウリカ'イ	ミ'カ'イ	ヘ'オモ ダ'カ	クロ'イ	オモ'カ	ヒル'シ ロ	葉 類 腐 離	セ'イ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 HOK-205-1kg 粒	北海道														100 g/a						
	東北																				
	北陸																				
	関東	早																			
	東海	普																			
	近畿	早																			
	中国	普	●2.5	●	●2	●2	●2				●	●	●	+5~7' I2.5L			●	●	●	1	
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●	●	●				●	●	●		
		普	●2.5	●	●2	●2	●2				●	●	●				●	●	●		
	九州	早																			
		普																			

	処理法	地域名	作期	ハ'エ	広葉 マハ'イ	ネタ'イ	ウリカ'イ	ミ'カ'イ	ヘ'オモ ダ'カ	クロ'イ	オモ'カ	ヒル'シ ロ	葉 類 腐 離	セ'イ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 KK-961-1kg 粒	茶葉兼土壌処理	北海道		○3	○	○2	○2				○前	○発 芽期	○前	○再 上 前	+5〜7℃3L 湛水周縁部 散布可能	100 g/a		○	○	○	2	(38) (42) (48)	
		東北		○3	○	○2	●2	○2	○2	○前	○始	○期	○前	○前			○	○	○	○			
		北陸																					
		関東	早																				
		東海	普																				
		近畿	早																				
		中国	普																				
		四国	早																				
			普																				
		九州	早																				
			普																				

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	ネタ'イ	ウリカ'イ	ミ'カ'イ	ヘ'オモ ダ'カ	クロ'イ	オモ'カ	ヒル'シ ロ	葉 類 腐 離	セ'イ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 KK-962-1kg 粒	北海道														100 g/a						(28) (34) (38)
	東北																				(42) (48)
	北陸		○3	○	○2	○2	○2	○	○	○			○	+5~7' I3L		○	○	○	○	2	
	関東	早	○3	○	○2	○2	○2				○	○	○			○	○	○	○		
	東海	普	○3	○	○2	○2	○2		○	○	○	○	○			○	○	○	○		
	近畿	早	○3	○	○2	○2	○2				○	○	○			○	○	○	○	1	
	中国	普	○3	○	○2	○2	○2				○	○	○			○	○	○	○	2	
	四国	早	○3	○	○2	○2	○2				○	○	○			○	○	○	○	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2				○	○	○			○	○	○	○	2	
	九州	早	○3	○	○2	○2	○2				○	○	○			○	○	○	○		
		普	○3	○	○2	○2	○2		○	○	○	○	○			○	○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海,九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海,九州)

VII-2 KUH-004D-1kg 粒「籾」

VII-2 KUH-004K-1kg 粒「籾」

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マハイ	ホタル	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ モカ	クロ グ	オモ カ	ヒルム シ	葉 腐 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 KUH-972D 7077g 籾	北海道														50 ml/a						(28) (34)
	東北																				
	北陸	早	○3	○	○2	○2	○2							±0~7/13L		●	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (近畿・中国・ 四国) *砂埴土 は+5~ (北陸)
	関東	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前	±5~7/13L		●	○	○	○		
	東海	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前			●	○	○	○		
	近畿	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	●前	○始	±0~7/13L			○	○	○	1.5	
	中国	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○始			○	○	○	○	2	
	四国	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	●前	○再 生前			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前	±5~7/13L		○	○	○	○	1.5	
		早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○始			○	○	○	○	2	
		早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○始			○	○	○	○	2	
		早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○始			○	○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マハイ	ホタル	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ モカ	クロ グ	オモ カ	ヒルム シ	葉 腐 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 KUH-972K 7077g 籾	北海道		○3	○	○2	○2					○発生 期	○前	○再 生前	±5~7/13L	50 ml/a	○	○	○	○	2	
	東北		○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再 生前			○	○	○	○	1.5	
	北陸												始								
	関東	早																			
	東海	早																			
	近畿	早																			
	中国	早																			
	四国	早																			
	九州	早																			
		早																			
		早																			
		早																			

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マハイ	ホタル	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ モカ	クロ グ	オモ カ	ヒルム シ	葉 腐 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 KUH-985 7077g 籾	北海道		○3	○	○2	○2		●2			○発生 期	○前	○再 生前	±5~7/13L	50 ml/a	○	○	○	○	2	
	東北		○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前			○	○	○	○	1.5	
	北陸												始								
	関東	早																			
	東海	早																			
	近畿	早																			
	中国	早																			
	四国	早																			
	九州	早																			
		早																			
		早																			
		早																			

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マハイ	ホタル	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ モカ	クロ グ	オモ カ	ヒルム シ	葉 腐 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 KUH-985(1) 7077g 籾	北海道														50 ml/a						(28) (34)
	東北																				
	北陸	早	○3	○	○2	○2	○2							±5~7/13L			○	○	○	1.5	
	関東	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前			●	●	○	○	1	
	東海	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前			○	○	○	○	2	
	近畿	早											○始								
	中国	早	○3	○	○2	○2	○2						○			○	○	○	○		
	四国	早																			
	九州	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再 生前			●	●	●	●	1.5	
		早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○始			○	○	○	○	2	
		早																			
		早																			

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	ネカリ	ウリカ	ミ'ヤ ガ'リ	ヘ'ラ オ'タ カ	クロ グ'ワイ	オモ グ'カ	ヒ'ル ム'シ ロ	藻 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 KUH-989D-1kg 粒	北海道														100 g/a						(28) (34)
	東北																				
	北陸		○3	○	○2	○2	○2	○始					○前	+5~ノ'エ3L			○	○	○	1.5	
	関東海	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生		●					●	●	1	
	普	○3	○	○2	○2	○2					○期	○前	○再生				○	○	○	2	
	近畿中	早										○発生	○前								
	普	○3	○	○2	○2	○2					○期		○始				○	○	○	1.5	
	四国	早										○発生									
	普	○3	○	○2	○2	○2					○期		○再生				○	○	○		
	九州	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生	●前	○再生				●	●	●		
	普	○3	○	○2	○2	○2					○期	○前	○始				○	○	○	1	

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	ネカリ	ウリカ	ミ'ヤ ガ'リ	ヘ'ラ オ'タ カ	クロ グ'ワイ	オモ グ'カ	ヒ'ル ム'シ ロ	藻 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 KUH-989K-1kg 粒	北海道		○3	○	○2	○2		●始			○発生	○前	○再生	+5~ノ'エ3L	100 g/a		○1.5	○	○	○2	(48)
	東北		○3	○	○2	○2	○2				○期		○前			●	●	○	○	1.5	
	北陸												○始	湛水周縁部 散布可能							
	関東海	早																			
	普																				
	近畿中	早																			
	普																				
	四国	早																			
	普																				
	九州	早																			
	普																				

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	ネカリ	ウリカ	ミ'ヤ ガ'リ	ヘ'ラ オ'タ カ	クロ グ'ワイ	オモ グ'カ	ヒ'ル ム'シ ロ	藻 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 MK-243D-1kg 7077' 粒	北海道												再生		50 ml/a						(34) (38) (41) (42)
	東北												○再生								
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2			○始			○始	+5~ノ'エ2.5L		●	○	○	○	2	
	関東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○			○	○	○	○	1	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始		○期	○前	○再生			○	○	○	○	2	
	近畿中	早	○2.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前	○			○	○	○	○	1.5	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○始	○期	●前	○			○	○	○	○	2	
	四国	早	○2.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前	○			○	○	○	○	1.5	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○期	●前	○	○再生			○	○	○	○	2	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○			○	○	○	○	1.5	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○期	○前	○	○始			○	○	○	○	2	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東・東海、九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(北陸、近畿・中国、四国)

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	ネカリ	ウリカ	ミ'ヤ ガ'リ	ヘ'ラ オ'タ カ	クロ グ'ワイ	オモ グ'カ	ヒ'ル ム'シ ロ	藻 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 MY-100D-1kg 粒	北海道												再生		100 g/a						(28) (34)
	東北												○再生								
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2						○始	+5~ノ'エ2.5L		○	○	○	○	2	
	関東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○			○	○	○	○	1	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○前	○再生			○	○	○	○	2	
	近畿中	早	○2.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前	○				○	○	○	1.5	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	●前	○			○	○	○			
	四国	早	○2.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前	○			○	○	○			
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	●前	○	○再生		○	○	○			
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○					○	○		
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○	○始			○	○	○			

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホカノ	ウリカ	ミヤ カ・リ	ヘラオモ ダ・カ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土 1.5	壤 土	壇 土	壇 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 MY-100DC 7077' Ⅱ Ⅱ-6-(5) Ⅱ-6-(6) を併用	千葉県 土壌処理	北海道	○2.5	○	○2	○始	○始				○発生	○前	○再生	+0~1/2' Ⅱ2.5L *エノノササカダサ :2L *シシイ :発生始~3cm	50 ml/a	○	○	○	○	2	(40)
		東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○期	○前	○前				○	○	○		
		北陸											始								
		関東	早																		
		東海	普																		
		近畿	早																		
		中国	普																		
		四国	早																		
		普																			
		九州	早																		
		普																			

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホカノ	ウリカ	ミヤ カ・リ	ヘラオモ ダ・カ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土 1.5	壤 土	壇 土	壇 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 MY-100DC(L) 7077' Ⅱ Ⅱ-6-(8) を併用	千葉県 土壌処理	北海道												+0~1/2' Ⅱ2.5L	50 ml/a						(28) (34) (36)
		東北																			
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2										○	○	○	1.5	
		関東	早	●2.5	●	●2	●2				発生	○前	○再生			●	●	●	●	1	
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○期	○前	○前				●	●	●	2	
		近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生	○前	○前				○	○	○	1.5	
		中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○期	○前	○			○				2	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生	○前	○				○	○	○	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○期	○前	○再生				○	○	○	2	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○前		○発生	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○期	○前	○			○	○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホカノ	ウリカ	ミヤ カ・リ	ヘラオモ ダ・カ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土 1.5	壤 土	壇 土	壇 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 MY-100N 顆粒水和 H8まで RYH-110 顆粒 水和で実施	千葉県 土壌処理	北海道	○2.5	○	○2	○2					○発生	○前	○再生	+0~1/2' Ⅱ2.5L	4g/a (8g/a 25~50 ml/a) 但し北陸 は50 ml/a		○	○	○	2	(28) (34) 田植同時 可能 (北海道・東海 ~四国)
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○期		○前				○	○	○		
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2						始					○	○	1	
		関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生	○前	○再生			○	○	○	○		
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○期	○前	○前			○	○	○	○	2	
		近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生	○前	○前			○	○	○	○		
		中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○期	○前	○			○					
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生	○前	○				○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○期	○前	○再生			○	○	○	○		
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○期		○			○	○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホカノ	ウリカ	ミヤ カ・リ	ヘラオモ ダ・カ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土 1.5	壤 土	壇 土	壇 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 MY-100NC 顆粒水和	千葉県 土壌処理	北海道	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生	●前	●再生	+5~1/2' Ⅱ2.5L	8g/a (8g/a 50 ml/a)		●	●	●	2	(28) (34)
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生	●前	●再生				●	●	●	1	
		北陸											始								
		関東	早	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生	●前	●再生					●	●	1	
		東海	普	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生	●前	●再生					●	●	1.5	
		近畿	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●前	●始								
		中国	普	●2.5	●	●2	●2	●2				●前	●				●	●	●	1	
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●前	●再生				●	●	●		
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●前	●				●	●	●		
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生	●前	●前				●	●	●	1.5	
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●期		●			●	●	●	●		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ネグイ	クワ カ	ミヤ ガ	ヘラ モ タ	クロ グ ワ	オモ ダ	ヒル シ ロ	藻 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壊 土	埋 土	埋 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 MY-100NC-1kg 粒	千葉県 土壌処理	北海道	●2.5	●	●2	●始		●始			●発生 期	●前	●再生 前～始	+5～/ハ・エ 12.5L	100 g/a	●1.5	●	●	●	2	
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生 期	●前	●再生 前～始								
		北陸																			
		関東 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前～始								
		近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前～始								
		四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前～始								
		九州	早 普								●発生 期	●前	●再生 前～始								

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ネグイ	クワ カ	ミヤ ガ	ヘラ モ タ	クロ グ ワ	オモ ダ	ヒル シ ロ	藻 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壊 土	埋 土	埋 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 MY-100NDC -1kg 粒	千葉県 土壌処理	北海道	●3	●	●2	●2		●2			●発生 期	●前	●再生 前～始	+5～/ハ・エ 13L	100 g/a		●	●	●	2	(28) (34)
		東北	●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前～始								
		北陸	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前～始								
		関東 東海	早 普	●3	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前～始								
		近畿 中国	早 普	●3	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前～始								
		四国	早 普	●3	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前～始								
		九州	早 普	●3	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前～始								

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ネグイ	クワ カ	ミヤ ガ	ヘラ モ タ	クロ グ ワ	オモ ダ	ヒル シ ロ	藻 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壊 土	埋 土	埋 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 MY-100TS 7077 # H8 まで RYU-10377077 #で実施 II-6-(1) II-6-(2) を併用	千葉県 土壌処理	北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前	○再生 前～始	+0～/ハ・エ 12.5L ※ハ・エ :発生後～6月3cm	50 ml/a	○1.5	○	○	○	2	(28) (34) (38) (40) (42)
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	●前	●始	○発生 期	○前	○再生 前～始								
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前～始								
		関東 東海	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	○発生 期	○前	○再生 前～始								
		近畿 中国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前～始								
		四国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前～始								
		九州	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前～始								

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北、関東・東海)

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北、関東・東海)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ネグイ	クワ カ	ミヤ ガ	ヘラ モ タ	クロ グ ワ	オモ ダ	ヒル シ ロ	藻 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壊 土	埋 土	埋 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NBA-942b-1kg 粒	千葉県 土壌処理	北海道												+5～/ハ・エ 13L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34)
		東北																			
		北陸	○3	○	○2	○2	○2	○2				○前									
		関東 東海	早 普	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前～始								
		近畿 中国	早 普	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前～始								
		四国	早 普	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前～始								
		九州	早 普	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前～始								

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ワリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオモ ダカ	クロウ ワイ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NC-339 顆粒水和	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		○前	○発生	○前	○再生	+5~ハ・エ 2.5L ※エゾノササカガヤ :2L ※シシイ :発生始~長さ3cm	4g/a (※減速 25~50 ml/a は50 ml/a)	○5	○	○	○	2	(28) (34) (38) (40) ※砂壤土は ハ・エ 2L (北陸)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○前	○発生	○前	○再生			○1.5	○	○	○		
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2				●前	○始			○5	○	○	○		
	関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○1	○	○	○		
	東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○		
	近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○	1	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○	○	2	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○	1	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○	2	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ワリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオモ ダカ	クロウ ワイ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NC-339-1kg 粒 II-6-(5) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生	○前	○再生	+5~ハ・エ 2.5L ※シシイ :発生始~3cm	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (40)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○	1.5	
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2						●始			○	○	○	○	2	
	関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			●1	○	○	○		
	東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○		
	近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○	1.5	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○	○	2	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○	2	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○	○	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○	○	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○	○	1	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ワリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオモ ダカ	クロウ ワイ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NC-385 顆粒水和	北海道		○2.5	○	○2	○2		●2			○発生	○前	○再生	+5~ハ・エ 2.5L ※減速 25~50 ml/a)	6g/a (※減速 25~50 ml/a)	○1.5	○	○	○	2	(28) (34)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	○再生			●	●	○	○	1.5	
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○始			●		●始			○	○	○	○		
	関東	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生			●	●	●	●	1	
	東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			●	●	○	○	2	
	近畿	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生			●	●	●	●	1.5	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			●	○	○	○	2	
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生			●	●	●	●	1.5	
	九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生			●	●	●	●	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○	○	2	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○	○	1	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ワリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオモ ダカ	クロウ ワイ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NC-390 707g/g	北海道		○3	○	○2	○2					○発生	○前	○再生	+5~ハ・エ 3L	50 ml/a	○1.5	○	○	○	2	(34) (41)
	東北		○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			●	●	○	○		
	北陸		○3	○	○2	○2	○2					●前	●始			○	○	○	○	1	
	関東	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○		
	東海	普	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○		
	近畿	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生			○	○	○	○	1.5	
	中国	普	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			●	○	○	○	2	
	四国	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生			○	○	○	○	2	
		普	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○	○		
		普	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	ヒ・エ	一年 広葉 マハ	ホム	ウリ	ミ カ	ヘ タ	クロ グ	オ モ	ヒ ム	葉 表	類 腐	セ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	埴 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 NC-395 顆粒水和	芽生床・床処理	北海道		●3	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前		+5～ヒ・エ3L	6g/a (現在推奨 50 ml/a)		●1.5	●	●	2	(28) (34)	
		東北		●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前					●	●	1			
		北陸		●3	●	●2	●2	●2					●前	●始					●		2			
		関東	早										●発生期		●再生前					●	●	●		
		近畿	早										●発生期	●前	●再生前	●始								
		中国	早		●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前	●始				●	●	●	1	
		四国	早				●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前					●	●	●		
		九州	早		●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前	●始				●	●	●		
			普		●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●	●			+5～ヒ・エ2.5L		●1	●	●	1.5	
			普										●発生期		●					●	●	●		

VII-2 NH-003-1kg 粒「籾」

VII-2 NH-004-1kg 粒「籾」

処理法	地域名	作期	ヒ・エ	一年 広葉 マハ	ホム	ウリ	ミ カ	ヘ タ	クロ グ	オ モ	ヒ ム	葉 表	類 腐	セ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NH-803 7077g	北海道	早	○2.5	○	○2	○2					○発生期	○前	○再生前		+5~ヒ・エ2.5L	50 ml/a	1.5	●	○	○	2	
	東北	早	○2.5	○	○2	●始	○2	○2			○発生期	○前	○再生前	始								
	北陸	早									○発生期	○前	○再生前									
	関東	早																				
	近畿	早																				
	中国	早																				
	四国	早																				
	九州	早																				
		普																				
		普																				

処理法	地域名	作期	ヒ・エ	一年 広葉 マハ	ホム	ウリ	ミ カ	ヘ タ	クロ グ	オ モ	ヒ ム	葉 表	類 腐	セ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NH-804 7077g	北海道	早													+5~ヒ・エ2.5L	50 ml/a						(28) (34)
	東北	早																				
	北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前										
	関東	早	●2.5	●	●2	●2	●始				●発生期	●前	●再生前									
	近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2				●発生期	●前	●再生前	始								
	中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前	始								
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				●発生期	●前	●再生前	始								
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前	始								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前	始								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前	始								

	処理法	地域名	作 期	ヒ・エ	一年 広葉 マハ	ホム	ウリ	ミ カ	ヘ タ	クロ グ	オ モ	ヒ ム	葉 表	類 腐	セ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NO1-101-1kg 粒	炭素・ 泥土・ 堆肥	北海道	早	○	○	○	○	○				○発生 期	○前	○前	再生 前	+5〜ヒ・エ3L	100 g/a	●1.3	○	○	○	2. (28) (34)	
		東北	早	○	○	○	○	●2	○	○	○		○発生 期	●前	○前			○					
		北陸	早	○	○	○	○	○	○	○					○			○					
		関東	早	○	○	○	○	○	○	○			○発生 期	○前	○前			再生 前					
		近畿	早	○	○	○	○	○	○	○			○発生 期	○前	○前			○					
		中国	早	○	○	○	○	○	○	○			○発生 期	○前	○前			○					
		四国	早	○	○	○	○	○	○	○			○発生 期	○前	○前			再生 前					
		九州	早	○	○	○	○	○	○	○			○発生 期	○前	○前			○					
		九州	早	●	●	●	●	●	●	●	●		●●発生 期	●前	●前			●●					
		九州	早	●	●	●	●	●	●	●	●		●●発生 期	●前	●前			●●					

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホ・ル	ウ・カ	ミ・ヤ ガ・リ	ヘ・オ モ・カ	ク・ロ グ・イ	オ・モ グ・カ	ヒ・ム シ・ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 電・製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NOJ-102 顆粒水和	北海道		●3	●	●2	●2					●発生 期	●前	●再生 前	+5~ハ・エ 13L	10 g/a 〔 散 布 50 ml/a 〕	1.5	●	●	●	2	(28) (34)
	東北		●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前								
	北陸		●3	●	●2	●2	●2					●前	●始								
	関東 東海	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前								
		普	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前								
	近畿 中国	早										●前	●始								
		普	●3	●	●2	●2	●2					●前	●始								
	四国	早											●再生 前								
		普	●3	●	●2	●2	●2					●前	●再生 前								
	九州	早									●発生 期	●前	●始								
		普	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●始								

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホ・ル	ウ・カ	ミ・ヤ ガ・リ	ヘ・オ モ・カ	ク・ロ グ・イ	オ・モ グ・カ	ヒ・ム シ・ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 電・製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NOJ-103-1kg 粒	北海道		○3	○	○2	○2					○発生 期	○前	○再生 前	+5~ハ・エ 13L	100 g/a	1.5	○	○	○	2	
	東北		○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
	北陸												○始								
	関東 東海	早																			
		普																			
	近畿 中国	早																			
		普																			
	四国	早																			
		普																			
	九州	早																			
		普																			

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホ・ル	ウ・カ	ミ・ヤ ガ・リ	ヘ・オ モ・カ	ク・ロ グ・イ	オ・モ グ・カ	ヒ・ム シ・ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 電・製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NOJ-104-1kg 粒	北海道													+5~ハ・エ 13L	100 g/a		●	●	●	2	(28) (34)
	東北																				
	北陸		●3	●	●2	●2	●2														
	関東 東海	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前								
		普	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前								
	近畿 中国	早									●発生 期	●前	●始								
		普	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○始								
	四国	早									●発生 期	●前	●再生 前								
		普	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前								
	九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●始								
		普	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●始								

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホ・ル	ウ・カ	ミ・ヤ ガ・リ	ヘ・オ モ・カ	ク・ロ グ・イ	オ・モ グ・カ	ヒ・ム シ・ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 電・製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NOJ-105 OF	北海道		●3	●	●2	●2					●発生 期	●前	●再生 前	+5~ハ・エ 13L	10 ml/a 〔 散 布 50 ml/a 〕	1.5	●	●	●	2	
	東北		●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前								
	北陸												●始								
	関東 東海	早																			
		普																			
	近畿 中国	早																			
		普																			
	四国	早																			
		普																			
	九州	早																			
		普																			

処理法	地域名	作期	ヒ・エ	一年広葉マツハ	ホトメ	ウリカ	ミヤガ	ヘラオモタ	クログ	オモガ	ヒルシ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 N01-106 OF	北海道														10 ml/a						(28) (34)
	東北														50 ml/a						
	北陸		●3	●	●2	●2	●2							+5~ヒ・エ3L				●●	2		
	関東海	早									発生期		再生前								
	普	●3	●	●2	●2	●2					●	●前	●					●●			
	近畿中国	早									発生期		再生前								
	普	●3	●	●2	●2	●2					●	●前	●				●●	1			
	四国	早									発生期		再生前								
	普	●3	●	●2	●2	●2					●	●前	●				●●				
	九州	早									発生期		再生前								
	普	●3	●	●2	●2	●2					●	●	●				●●	1.5			

処理法	地域名	作期	ヒ・エ	一年広葉マツハ	ホトメ	ウリカ	ミヤガ	ヘラオモタ	クログ	オモガ	ヒルシ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 NSK-858(1) 7077	北海道												再生前		50 ml/a						(28) (34) (36) (38) (42)
	東北												再生前								
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2			○始			○始	+5~ヒ・エ2.5L			○	○	○	2	
	関東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生期	○前	○	再生前	+0~ヒ・エ2.5L		○*	○	○	○	1.5	水口処理可能(北陸~九州)
	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○始	○期	○前	○			○	○	○	○		
	近畿中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○始				○	○	○	1	*砂壌土は+5~(関東・東海の早期)
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○前	○				○	○	○	1.5	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○				○	○	○	1	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○前	○	再生前	*コリヤガウ:発生始		○	○	○	1.5	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○始				○	○	○	2	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○始	○期	○前	○	○*		○	○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(北陸、関東・東海、九州)

	処理法	地域名	作期	ヒ・エ	一年 広葉 マツハ	ホトメ	ウリカ	ミヤ ガ ヲ	ヘラオモ タ	クログ ヲ	オモガ カ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 填 土	堆 填 土	減 深 cm/d	使用上の 注意			
VII-2 NSK-858(Ⅰ) -1kg 粒	茎葉兼土壌処理	北海道													+5~ヒ・エ2.5L 湛水周縁部 散布可能 (関東・東海 ~九州)	100 g/a						(28) (34) (48)			
		東北																							
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2												○	○	○	1.5		
		関東 東海	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期	●前			●再生前		●	●	●	●	1		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○前	○			再生前			○	○	○	2		
		近畿 中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期	●前			●始	湛水周縁部 散布可能 (関東・東海 ~九州)			●	●	●	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					●期	●前	○				●	○	○					
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期	●前			●再生前			●	●	●			
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					●期	●前	○					●	○	○				
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期	●前			●再生前		●	●	●	●	2		
普	●2.5	●	●2	●2	●2						●発生期	●前	●始		●	●	●	●	1.5						

処理法	地域名	作期	ヒ・エ	一年広葉マツハ	ホトメ	ウリカ	ミヤガ	ヘラオモタ	クログ	オモガ	ヒルシ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 NSK-858A-1kg 粒	北海道		○2.5	○	○2	○2					○発生期	○前	○再生前	+5~ヒ・エ2.5L	100 g/a	●	○	○	○	2	(48)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2				○期	○	○前			●	○	○	○	1.5	
	北陸												始								
	関東海	早																			
	普																				
	近畿中国	早																			
	普																				
	四国	早																			
	普																				
	九州	早																			
	普																				

処理法	地域名	作期	ヒ・エ	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラオモ タ	クロガ イ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 RH-631-1kg 粒	千葉県 土壌処理	北海道	○2.5	○	○2	○2		●2			○発生 期	○前	○再生 前	+5~ノヒ' I2.5L	100 g/a	○	○	○	○2	(28) (34)
		東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○期	●前	○前	+5~ノヒ' I3L		●	○	○	1.5	
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○始	+5~ノヒ' I2.5L			○	○		
		関東 東海	早 ○2.5 普 ○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前	+5~ノヒ' I3L			○	○	2	
		近畿 中国	早 ○2.5 普 ○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前	+5~ノヒ' I2.5L			○	○	1.5	
		四国	早 ○2.5 普 ○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前				○	○		
		九州	早 ○2.5 普 ○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○始				○	○	1	

処理法	地域名	作期	ヒ・エ	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラオモ タ	クロガ イ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1として SB-556 7077' Ⅱ Ⅱ-6-(6) を併用	千葉県 土壌処理	北海道	○2	○	○2	○始							●*	+0~ノヒ' I2L	50 ml/a	○	○	○	2	(28) (34)
		東北	○2	○	○2	○始	○始							*I' /サヤスカ' : 2L		○	○	○	1.5	
		北陸	○2	○	○2	○始	○始									○	○	○	2	水口処理 可能 (北海道 ~北陸 九州)
		関東 東海	早 ●2 普 ○2.5	●	●2	●2	●2							+0~ノヒ' I2.5L		○	○	○	2	
		近畿 中国	早 ●2.5 普 ○2.5	●	●2	●2	●始									○	○	○	1.5	
		四国	早 ●2.5 普 ○2.5	●	●2	●2	●始									○	○	○		
		九州	早 ○2 普 ○2	○	○2	○2	○2							+0~ノヒ' I2L		○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	ヒ・エ	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラオモ タ	クロガ イ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 SW-002 7077' Ⅱ (旧HISW-982)	千葉県 土壌処理	北海道	○2.5	○	○2	○2					○発生 期	○前	○再生 前	+3~ノヒ' I2.5L	50 ml/a	○	○	○	2	水口処理 可能 (北海道)
		東北	●2.5	●	●2	●2	●始				●発生 期	●前	●前				●	●	1.5	
		北陸											始	*I' /サヤスカ' : 2L						
		関東 東海	早 普																	
		近畿 中国	早 普																	
		四国	早 普																	
		九州	早 普																	

処理法	地域名	作期	ヒ・エ	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラオモ タ	クロガ イ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 SW-991-1kg 粒	千葉県 土壌処理	北海道	●2.5	●	●2	●2					●発生 期	●前		+5~ノヒ' I2.5L	100 g/a	○	○	○	2	(28) (34)
		東北									○期									
		北陸	●2.5	●	●2	●始	●2							+5~ノヒ' I2.5L			●	●	2	
		関東 東海	早 普 ●2	●	●2	●2	●2				●発生 期			+5~ノヒ' I2L			●	●		
		近畿 中国	早 普 ●2.5	●	●2	●2	●2							+5~ノヒ' I2.5L			●	●	1	
		四国	早 普 ●2.5	●	●2	●2	●2										●	●		
		九州	早 普 ●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期						●	●		

VII-2 TH-001 7077' Ⅱ 「緑」

VII-2 MY-100TSC 7077' Ⅱ 「緑」

VII-2 TH-913NCS 7077' Ⅱ 「緑」

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	ネタ'イ	ウリカ'イ	ミ'ヤ タ'リ	ハ'ウオ タ'カ	クロ'ウ イ	オモ'カ	ヒ'ムシ ロ	葉 表 剥 離	セ'リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 積 土	堆 積 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 TH-951 7077' Ⅱ 茶葉茶土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2					○発生 期	○前	○再生 期	+0～ハ'エ2.5L	50 ml/a	●	○	○	○	2	(28) (34) 水口処理 可能 (東北) 田植同時 散布可能 (北陸)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○前								
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2						○始								
	関東 東海	早 普	○2.5 ○2.5	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				○発生 期	○前	○前								
	近畿 中国	早 普	○2.5 ○2.5	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				○発生 期	○前	○前								
											○発生 期	○前	○前								
	四国	早 普	○2.5 ○2.5	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				○発生 期	○前	○前								
											○発生 期	○前	○再生 期								
	九州	早 普	○2.5 ○2.5	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				○発生 期	○前	○前								
											○発生 期	○前	○始								

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	ネタ'イ	ウリカ'イ	ミ'ヤ タ'リ	ハ'ウオ タ'カ	クロ'ウ イ	オモ'カ	ヒ'ムシ ロ	葉 表 剥 離	セ'リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 積 土	堆 積 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NBA-941S-1kg 粒	北海道		●3	●	●2	●2		●始			●発生 期	●前	●再生 期	+5～ハ'エ3L	100 g/a	●	●	●	●	2	
	東北		●3	●	●2	●2	●2	●始			●発生 期	●前	●前								
	北陸												●始								
	関東 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	ネタ'イ	ウリカ'イ	ミ'ヤ タ'リ	ハ'ウオ タ'カ	クロ'ウ イ	オモ'カ	ヒ'ムシ ロ	葉 表 剥 離	セ'リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 積 土	堆 積 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NC-311DCD -1kg 粒	北海道		○3	○	○2	○2		○2		○前	○発生 期	○前	○再生 期	+5～ハ'エ3L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (38) (40)
	東北		○3	○00***	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○前								
	北陸		○3	○	○2	○2	○2					○前	○始								
	関東 東海	早 普	○3 ○3	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				○発生 期	○前	○前								
	近畿 中国	早 普	○3 ○3	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				○発生 期	○前	○前								
											○発生 期	○前	○始								
	四国	早 普	○3 ○3	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				○発生 期	○前	○前								
											○発生 期	○前	○再生 期								
	九州	早 普	○3 ○3	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				○発生 期	○前	○前								
											○発生 期	○前	○始								

VII-2 SW-005 7077' Ⅱ 「縦」

VII-2 SW-005(Ⅱ) 7077' Ⅱ 「縦」

VII-3 長期持続型一発処理剤

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	ネタ'イ	ウリカ'イ	ミ'ヤ タ'リ	ハ'ウオ タ'カ	クロ'ウ イ	オモ'カ	ヒ'ムシ ロ	葉 表 剥 離	セ'リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 積 土	堆 積 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3 AC-014A-1kg 粒	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2		○前	○発生 期	○前		+0～ハ'エ1.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(38) 田植同時 散布可能 (北海道 ～四国)
	東北		○1.5	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前									
	北陸		○1.5	○	○2	○2	○2					●前									
	関東 東海	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				○発生 期	○前	○前								
	近畿 中国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始 ○始				○発生 期	○前	○前								
											○前	○期	○前								
	四国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始 ○始				○発生 期	○前	○前								
											○前	○期	○前								
	九州	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始 ○始				○発生 期	○前	○前								
											○前	○期	○前								

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(近畿・中国・四国)

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マハ' I	ホ' R	ウ' K	ミ' Y	ヘ' O	クロ' G	オ' M	ヒ' M	藻類 剥離	セ' I	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土 1.5	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3 AC-014C-1kg 粒	北海道		○ 2	○	○ 2	○ 2		○ 2			○ 発生	○ 前	○ 再	+5 ~ / E' I 2L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (41)
	東北		○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2			○ 発生	○ 前	○ 前								
	北陸		○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2				○ 前									
	関東 東海	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2			○ 発生	○ 前									
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2			○ 発生	○ 前									
	近畿 中国	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2			○ 発生	○ 前									
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2			○ 発生	○ 前									
	四国	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2			○ 発生	○ 前									
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2			○ 発生	○ 前									
	九州	早	○ 2	○	○ 2	○ 始	○ 2				○ 発生	○ 前									
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生	○ 前									

IX 一年生持続型除草剤

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マハ' I	ホ' R	ウ' K	ミ' Y	ヘ' O	クロ' G	オ' M	ヒ' M	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土 1.5	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
IX HGX-983 7077' 粉	北海道		● 2	●	● 始			● 始				● 前	+0 ~ / E' I 2L	50 ml/a	●	●	●	●	2	
	東北																			
	北陸																			
	関東 東海	早																		
		普																		
	近畿 中国	早																		
		普																		
	四国	早																		
		普																		
	九州	早																		
		普																		

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マハ' I	ホ' R	ウ' K	ミ' Y	ヘ' O	クロ' G	オ' M	ヒ' M	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土 1.5	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1として MY-100MS 7077' 粉	北海道												+0 ~ / E' I 1.5L	50 ml/a					1.5	
	東北																			
	北陸																			
	関東 東海	早																		
		普	● 1.5	●	● 始		● 始													
	近畿 中国	早																		
		普	● 1.5	●	● 始	● 始	● 始													
	四国	早																		
		普	● 1.5	●	● 始	● 始	● 始													
	九州	早																		
		普	● 1.5	●	● 始	● 始	● 始													

X 0.5kg及び0.25kg粒剂等
移植後土壌処理剤

	処理法	地域名	作期	ハ' E	一年葉マハ' I	ホ' R	ウ' K	ミ' Y	ヘ' O	クロ' G	オ' M	ヒ' M	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意		
X KUH-992 -0.25kg 粒	土壌処理	北海道		● 1	●	● 始			● 前					+1 ~ +5 (ハ' E 1L)	25 g/a	● 5	●	●	●	2	(28) (34) (48)		
		東北		● 始	●	● 始		● 前	● 始					+1 ~ +5 (ハ' E 1始)				●	●	1	一発の処理 前処理 使用する。		
		北陸		● 1	●	● 始		● 始						+1 ~ +5 (ハ' E 1L)			●	●	●	1.5			
		関東 東海	早																●	●			2
		普	● 1	●	● 始														●	●			
		近畿 中国	早																	●		●	1.5
		普	● 始	●	● 始		● 始												●	●			
		四国	早													+1 ~ +5 (ハ' E 1始)			●	●		●	
		普	● 始	●	● 始		● 始												●	●		●	
		九州	早													減水周縁部 散布可能				●		●	●
		普	● 始	●	● 始		● 始												●	●		●	

一発処理剤

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホタルイ	ワカメ	ミナ ガリ	ヘラモ ダカ	クロガ イ	モダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X AGH-987 -0.5kg 粒	北海道													50 g/a						(48)
	東北	●2	●	●2	●始	●始	●始						+5~ノ'E2L				●●	1.5		
	北陸	●2	●	●始	●前	●前											●●			
	関東 東海	早 普											満水周縁部 散布可能 (東北, 北陸)				●●			
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホタルイ	ワカメ	ミナ ガリ	ヘラモ ダカ	クロガ イ	モダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X AKD-7105 -0.5kg 粒 (旧NC-386 -0.5kg)	北海道	○2	○	○始	○始		○前			○発 生	○前	○再 生	+5~ノ'E2L	50 g/a		○	○	○	2	(34) (41) (48)
	東北	○2	○	○2	○始	○2				○期	○前	○前				○	○	○	1.5	
	北陸	○2	○	○2	○始	○始	○始					○始				○	○			満水周縁部 散布可能
	関東 東海	早 普	●1.5 ○2	● ○	●始 ○始	●始 ○始				○発 生	○前	○再 生	+5~ノ'E1.5L +5~ノ'E2L			●	●	●	2	
	近畿 中国	早 普	○2	○	○始	○始	○始			○期	○前	○前				○	○		1	
	四国	早 普	○2	○	○2	○2	○2				○前	○				○	○			
	九州	早 普	○2	○	○2	○2	○2				○前	○再 生				○	○			
			●2	●	●2	●始	●始			●発 生	●前	●				●	●	●	1.5	

X KUHI-003D-0.25kg 粒「継」

X KUHI-003K-0.25kg 粒「継」

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホタルイ	ワカメ	ミナ ガリ	ヘラモ ダカ	クロガ イ	モダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X KUHI-986D -0.25kg 粒	北海道											再生 前		25 g/a						(34) (41) (48)
	東北																			
	北陸	○2	○	○始	○始	○始						●始	+1~ノ'E2L		●*	○	○	○	2	*砂壌土 厚+5~ (北陸, 近畿 中国, 四国)
	関東 東海	早 普	●2 ○2	● ○	●始 ○始	●2 ○始				○発 生	○前	○再 生	+5~ノ'E2L		●	●	●	●		
	近畿 中国	早 普	○2	○	○2	●2	○2			○期	○前	○始	+1~ノ'E2L		○	○	○	○		
	四国	早 普	○2	○	○2	●2	○2			○期	○前	○再 生			●*	○	○		1	
	九州	早 普	●2 ●2	● ●	●2 ●2	●2 ●2	●2			●発 生	●前	●	+5~ノ'E2L		●	●	●	●	1.5	

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホタルイ	ワカメ	ミナ ガリ	ヘラモ ダカ	クロガ イ	モダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X KUHI-988K -0.25kg 粒	北海道	○2	○	○始	○2		○前			○発 生	○前	○再 生	+5~ノ'E2L	25 g/a		○	○	○	2	(48)
	東北	○2	○	○2	○始	○始	○2			○期	●前	○前			●	●	○	○	1.5	
	北陸											始								
	関東 東海	早 普											満水周縁部 散布可能							
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホハ・イ	ウハ・イ	ミヤ ガ・リ	ヘラモ タ・カ	クロガ ワイ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X MK-243D(L) -0.5kg 粒	土壌処理	北海道												再生 前	+5~ハ・エ2L 湛水周縁部 散布可能	50 g/a	●	○	○	○	2	(28) (34) (48)
		東北												○始								
		北陸		○2	○	○2	○2	○2	○始	○始				○始								
		関東 東海	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前								
			普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前								
		近畿 中国	早	●2	●	●2	●始	●2				●発生 期	●前	●再 生前								
			普	○2	○	○2	○2	○2				●発生 期	●前	○再 生前								
		四国	早	●2	●	●2	●始	●2				●発生 期	●前	●再 生前								
			普	○2	○	○2	○2	○2				●発生 期	●前	○再 生前								
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前								
			普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前								

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホハ・イ	ウハ・イ	ミヤ ガ・リ	ヘラモ タ・カ	クロガ ワイ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X MK-243DS -0.5kg 粒	土壌処理	北海道		○2	○	○始	○2					○発生 期	○前	○再 生前	+5~ハ・エ2L 湛水周縁部 散布可能	50 g/a	●	○	○	○	2	(48)
		東北		○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期		○前								
		北陸												始								
		関東 東海	早																			
			普																			
		近畿 中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホハ・イ	ウハ・イ	ミヤ ガ・リ	ヘラモ タ・カ	クロガ ワイ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X MK-243N -0.5kg 粒	土壌処理	北海道		○2	○	○始	○2					○発生 期	○前	○再 生前	+5~ハ・エ2L 湛水周縁部 散布可能 (東北・関東・ 東海~九州)	50 g/a	●	○	○	○	2	(28) (34) (48)
		東北		○2	○	○2	●始	○2	○2			○発生 期	○前	○再 生前								
		北陸		○2	○	○2	○2	○始						始								
		関東 東海	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前								
			普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前								
		近畿 中国	早	●2	●	●2	●始	●始				●発生 期	●前	●再 生前								
			普	○2	○	○2	○2	○2				●発生 期	●前	○再 生前								
		四国	早	●2	●	●2	●始	●始				●発生 期	●前	●再 生前								
			普	○2	○	○2	○2	○2				●発生 期	●前	○再 生前								
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前								
			普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再 生前								

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホハ・イ	ウハ・イ	ミヤ ガ・リ	ヘラモ タ・カ	クロガ ワイ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X NII-801 -0.5kg 粒	土壌処理	北海道		○2	○	○始	○2		○始			○発生 期	○前	○再 生前	+5~ハ・エ2L 湛水周縁部 散布可能	50 g/a	●	○	○	○	2	(48)
		東北		○2	○	○2	○始	○2				○発生 期		○前								
		北陸												始								
		関東 東海	早																			
			普																			
		近畿 中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年広葉マ'ハ'イ	ホ'ルイ	ウ'リカ	ミ'カ'ヤ'リ	ヘ'ラ'オ'モ'タ'カ	クロ'グ'ワイ	オ'モ'グ'カ	ヒ'ル'ム'シ'ロ	藻類腐離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
X NH-802 -0.5kg 粒	北海道														50 g/a						(28)
	東北																				(34)
	北陸		○2	○	○始	○始	○始					○前		+5~ノ'エ2L			○	○	○	1.5	(48)
	関東	早										発生期		湛水周縁部 散布可能			○	○	○		
	東海	普	○2	○	○2	○始	○始				○		○再生前				○	○	○		
	近畿	早											○再生前								
	中国	普	○2	○	○2	○始	○2					○前	○				○	○	○	1	
	四国	早											○再生前								
	普	○2	○	○2	○始	○2						○前	○再生前				○	○	○		
	九州	早										発生期									
	普	●2	●	●2	●2	●2					●	●前	●			●	●	●	●	1.5	

一年生持続型

X MK-243S-0.5kg 粒 「縫」

X I 生物除草剤

X I MTB-951 「縫」

ジヤンボ剤

II-2 移植前後土壌処理

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年広葉マ'ハ'イ	ホ'ルイ	ウ'リカ	ミ'カ'ヤ'リ	ヘ'ラ'オ'モ'タ'カ	クロ'グ'ワイ	オ'モ'グ'カ	ヒ'ル'ム'シ'ロ	藻類腐離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-2 KPP-2005 ジヤンボ	北海道		○1	○	○始			○始						+0~+5 (ノ'エ'エ1L)	50gx13/a	●	○	○	○	2	(45)
	東北		○1	○	○始			○始						+1~+5 (ノ'エ'エ1L)		○	○	○	○	1.5	(46)
	北陸		○1	○	○前			○前						+1~+5 (ノ'エ'エ1L)		○	○	○	○		体系処理の 前50gx13/a 処理が可能
	関東	早	●前	●	●前			●前						+1~+5 (ノ'エ'エ1L)				●	●	1	
	東海	普	○1	○	○始			○始						+1~+5 (ノ'エ'エ1L)				○	○		
	近畿	早	●1	●	●始			●前						+0~+5 (ノ'エ'エ1L)				○	○		
	中国	普	○1	○	○始			○前										○	○	2	
	四国	早	●1	●	●始			●前						植代後~-4, +1~+5 (ノ'エ'エ1L)				○	○	○	2
	普	○1	○	○始			○前										○	○	○	2	
	九州	早	●1	●	●前			●前									○	○	○	1.5	
	普	○1	○	○始													○	○	○	1	

II-2 MAT-159 ジヤンボ 「縫」

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年広葉マ'ハ'イ	ホ'ルイ	ウ'リカ	ミ'カ'ヤ'リ	ヘ'ラ'オ'モ'タ'カ	クロ'グ'ワイ	オ'モ'グ'カ	ヒ'ル'ム'シ'ロ	藻類腐離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-2 SW-972 ジヤンボ	北海道		○1	○	○始	○始								+1~+10 (ノ'エ'エ1L)	30gx13/a	●	○	○	○	2	(28)
	東北		○1	○	○始	○始								植代後~-4, +1~+5 (ノ'エ'エ1L)		○	○	○	○	1.5	(45)
	北陸		○1	○	○始	○始										○	○	○	○	2	(46)
	関東	早	○1	○	○始	○始										○	○	○	○	1	一発型 除草剤として 使用する。
	東海	普	○1	○	○始	○始										○	○	○	○	2	
	近畿	早	●1	●	●始	●前										○	○	○	○	1	
	中国	普	○1	○	○始	○始										○	○	○	○	2	
	四国	早	●1	●	●始	●前											○	○	○		
	普	○1	○	○始	○始												○	○	○		
	九州	早	○1	○	○始	○始											○	○	○	1.5	
	普	○1	○	○始	○始												○	○	○		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ ガヤ	ヘラオモ タ'カ	クログ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-2 ブタコロ シ'ヤンボ'	土壌処理	北海道	●	1	●	●	始	●	前					+1~+5(ハ'エIL)	50gx 13/a	●	●	●	●	2	(34) (45) (46)
		東北	●	1	●	●	始	●	始					植代後~-4, +1~+5 (ハ'エIL)			●	●	●	1	
		北陸	●	1	●	●	前	●	前					植代後~-4, +1~+5(ハ'エ始)			●	●	●	1.5	
		関東 東海	早 普	● 1	● ●	● ●	前 始	● 始	前 始					植代後~-4, +1~+5(ハ'エIL)				● ●	● ●	1	
		近畿 中国	早 普															● ●	● ●		
		四国	早 普	● 1	● ●	● ●	始 始											● ●	● ●		
		九州	早 普											+1~+5 (ハ'エIL)							
				●	1	●	●	始	●	始						●	●	●	●	1.5	

II-3 移植後土壌処理

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ ガヤ	ヘラオモ タ'カ	クログ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-3 SB-554 シ'ヤンボ'	土壌処理	北海道	○	1	○	○	始		○	始				+1~+5 (ハ'エIL)	50gx 13/a	○	○	○	○	1.5	(34) (45) (47)
		東北	○	1	○	○	始	○	始							○	○	○	○		
		北陸	○	1	○	○	始	○	前								○	○	○	2	
		関東 東海	早 普															○ ○	○ ○	1	
		近畿 中国	早 普	○ 1	○ ○	○ ○	始 始	○ 始										○ ○	○ ○	1.5	
		四国	早 普	○ 1	○ ○	○ ○	始 始	○ 前										○ ○	○ ○		
		九州	早 普											+3~+5 (ハ'エIL)							
				●	1	●	●	始	●	始						●	●	●	●		

II-5 適用時期拡大

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ ガヤ	ヘラオモ タ'カ	クログ ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 DEII-112 シ'ヤンボ'	表葉処理	北海道	○	4										+15~+35 (ハ'エ'12.5L ~4L)	50gx 2,3/a	○	○	○	○	2	(21) (45) (47)
		東北	○	4												○	○	○	○		
		北陸	○	4												○	○	○	○		
		関東 東海	早 普	○ 4												○ ●	○ ○	○ ○	○ ○		
		近畿 中国	早 普	● 4 ○ 4												○ ● ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		
		四国	早 普	● 4 ○ 4												○ ● ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		
		九州	早 普	○ 4 ○ 4												○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		

II-6-(1) クログワイ対象

II-6-(1) NBA-092a シ'ヤンボ' 「実・継」 VII参照

II-6-(1) NBA-092b シ'ヤンボ' 「実・継」 VII参照

II-6-(1) SB-554 シ'ヤンボ' 「継」

II-6-(2) オモダカ対象

II-6-(2) HSA-971 シ'ヤンボ' 「実・継」 VII参照

II-6-(2) NBA-092a シ'ヤンボ' 「実・継」 VII参照

II-6-(2) NBA-092b シ'ヤンボ' 「実・継」 VII参照

II-6-(6) エノサヤヌカグサ対象

II-6-(6) NBA-092a シ'ヤンボ' 「実・継」 VII参照

VII 一発処理剤

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 ツバハ	ホタル	ウリカ	ミ ガ リ	ヘ ラ オ モ タ カ	クロ グ リ	オ モ ガ カ	ヒ ム シ ロ	葉 表 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意
VII AC-014C 「ジャンボ」	北海道	早	○2	○	○2	○2		○2		○前	○発生	○前		+5~ノビ I2L	50gx 27/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (38) (45) (47)
	東北	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○前	○発生				○	○	○	○		
	北陸	早	○2	○	○2	○2	○2					○前				●	○	○	○		
	関東海	早	○2	○	○始	○始	○始				○発生					●	●	○	○	1	
	普	○2	○	○始	○始	○始										○	○	○	○	2	
	近畿中国	早	○2	○	○2	○始	○2				○発生					○	○	○	○	1	
	普	○2	○	○2	○2	○2			○前		○発生	○前				○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○2	○	○2	○始	○2				○発生						○	○	○	1	
	普	○2	○	○2	○2	○2			○前		○発生	○前	再生前			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生					○	○	○	○	1	
	普	○2	○	○2	○2	○2			○前	○前	○前	○				○	○	○	○	1.5	

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(近畿・中国~九州)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 ツバハ	ホタル	ウリカ	ミ ガ リ	ヘ ラ オ モ タ カ	クロ グ リ	オ モ ガ カ	ヒ ム シ ロ	葉 表 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意
VII AC-014C-50 「ジャンボ」	北海道	早	●2	●	●始	●2		●始			●発生	●前	●再生前	+3~ノビ I2L	50gx 13/a		●	●	●	2	(28) (34) (45) (47)
	東北	早	●2	●	●2	●始	●2	●始			●発生		●再生前				●	●	●	1	
	北陸	早	●2	●	●始	●始	●始						●始				●	●	●	1.5	
	関東海	早	●2	●	●始	●始	●始				●発生						●	●	●		
	普	●2	●	●始	●始	●始											●	●	●		
	近畿中国	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生						●	●	●		
	普	●2	●	●2	●2	●2										●	●	●	●	2	
	四国	早	●2	●	●2	●2	●2									●	●	●	●		
	普	●2	●	●2	●2	●2										●	●	●	●		
	九州	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生					●	●	●	●		
	普	●2	●	●2	●2	●2					●発生		●			●	●	●	●		

VII AC-014R 「ジャンボ」 「継」

VII AGII-008 「ジャンボ」 「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 ツバハ	ホタル	ウリカ	ミ ガ リ	ヘ ラ オ モ タ カ	クロ グ リ	オ モ ガ カ	ヒ ム シ ロ	葉 表 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意
VII AGII-987 「ジャンボ」	北海道	早	●2	●	●始	●始		●始			●発生	●前	●再生前	+5~ノビ I2L	50gx 13/a		●	●	●	2	(28) (34) (45) (47)
	東北	早	●2	●	●2	●始	●2	●始			●発生		●再生前				●	●	●	1.5	
	北陸	早	●2	●	●2	●始	●始						●始				●	●	●	2	
	関東海	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生前			●	●	●	●		
	普	○2	○	○2	○始	○始				○発生	○前	○再生前					○	○	○	1	
	近畿中国	早	○2	○	○2	●2	○2				○発生	○前	○始				○	○	○		
	普	○2	○	○2	○2	○2			○前		○発生	○前	○			●	○	○	○	1.5	
	四国	早	○2	○	○2	●2	○2				○発生	○前	○再生前			●	○	○	○		
	普	○2	○	○2	○2	○2			○前		○発生	○前	○			●	○	○	○		
	九州	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生前			●	●	●	●		
	普	○2	○	○始	○始	○始				●発生	●前	●				●	○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 ツバハ	ホタル	ウリカ	ミ ガ リ	ヘ ラ オ モ タ カ	クロ グ リ	オ モ ガ カ	ヒ ム シ ロ	葉 表 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意
VII HSA-971 「ジャンボ」 II-6-(2) を併用	北海道	早	○2	○	○2	○2				●前	○発生	○前	○再生前	+5~ノビ I2L	50gx 13/a		○	○	○	1.5	(28) (34) (38) (47)
	東北	早	○2	○	○始	○始	○始	○始		●前		○発生	○前				○	○	○		
	北陸	早	○2	○	○2	○始	○始	○始		●前			○始				○	○	○	2	
	関東海	早	○2	○	○2	○始	○始				○発生		○再生前			○	○	○	○	1	
	普	○2	○	○2	○2	○始				●前	○前					○	○	○	○		
	近畿中国	早	●2	●	●2	●始	●始				●発生		●再生前			●	○	○	○	2	
	普	○2	○	○2	○2	○2				●前	○前	○				●	○	○	○	1.5	
	四国	早	●2	●	●2	●始	●始				●発生		●再生前			●	○	○	○		
	普	○2	○	○2	○2	○2				●前	○前	○				●	○	○	○		
	九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生		○再生前				○	○	○	1	
	普	○2	○	○2	○2	○2				●始	○前	○前	○			●	○	○	○	1.5	

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(北陸~九州)

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラオ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII KU11-883(改) シャボ	北海道		●2	●	●始	●2		●始			●発 生期	●前	●再 生前	+3~1/2 I2L	35gx 17/a	●	●	●	●	2	(45) (47)
	東北		●2	●	●2	●始	●2	●始			●発 生期	●前	●再 生前								
	北陸												●始								
	関東 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラオ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII KU11-883(改) シャボ	北海道												再生 前	+3~1/2 I2L	35gx 17/a						(28) (34) (45) (47)
	東北												●再 生前								
	北陸		●2	●	●始	●始	●始						●始								
	関東 東海	早 普	●2	●	●2	●始	●始				●発 生期	●前	●再 生前								
	近畿 中国	早 普	●2	●	●2	●2	●2				●発 生期	●前	●再 生前								
	四国	早 普	●2	●	●2	●2	●2				●発 生期	●前	●再 生前								
	九州	早 普	●2	●	●2	●2	●2				●発 生期	●前	●再 生前								

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラオ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII KU11-975PD シャボ	北海道												再生 前	+5~1/2 I2L	25gx 17/a					1.5	(28) (34) (45) (47)
	東北												●再 生前								
	北陸		○2	○	○2	○2	○始					●前	●始								
	関東 東海	早 普	●2	●	●2	●2	●2				●発 生期	●前	●再 生前								
	近畿 中国	早 普	○2	○	○2	○始	○始				○期	○前	○再 生前								
	四国	早 普	○2	○	○2	○2	○2					○前	○再 生前								
	九州	早 普	●2	●	●2	●2	●2				●発 生期	●前	●再 生前								
			○2	○	○2	○始	○始				○期	○前	○再 生前								

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラオ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII KU11-975PK シャボ	北海道		○2	○	○2	○始		○始			○発 生期	○前	○再 生前	+5~1/2 I2L	25gx 17/a					1.5	(45) (47)
	東北		○2	○	○2	○始	○始	○始			●期	●前	●再 生前								
	北陸												●始								
	関東 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ	ホタテ	ウリカ	ミ ガ リ	ヘラ タ カ	クロ グ ワイ	オモ ダ カ	ヒル シ ロ	藻 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII MY-100DC(1) ジャンボ	北海道														50gx 13/a						(28) (34) (45) (47)
	東北																				
	北陸		●2	●	●始	●始	●始							+3~7' I2L			●	●	●	1.5	
	関東 東海	早	●2	●	●2	●始	●始					発生 期	●前	●再生 前~始						1	
		普	●2	●	●2	●始	●始					●前				●	●	●	●	2	
	近畿 中国	早																			
		普	●2	●	●始	●始	●始					●前					●	●	●	1.5	
	四国	早																			
		普	●2	●	●始	●始	●始					●前	●再生 前~始				●	●	●		
	九州	早	●2	●	●始	●始	●始					発生 期	●前	+5~7' I2L		●	●	●	●	2	
		普	●2	●	●2	●始	●始				●	●	●	+3~7' I2L		●	●	●	●	1.5	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ	ホタテ	ウリカ	ミ ガ リ	ヘラ タ カ	クロ グ ワイ	オモ ダ カ	ヒル シ ロ	藻 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII MY-100MS ジャンボ	北海道		○1.5	○	○始	○始								+3~7' I1.5L	50gx 13/a			○	○	1.5	(34) (45) (47)
	東北		○1.5	○	○始	○前	○前											○	○		
	北陸		○1.5	○	○始	○始	○始									●	●	○	○		
	関東 東海	早	●1.5	●	●始	●始	●始										○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始									●	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	●1.5	●	●始	●始	●始												●	1.5	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始										○	○	○	1	
	四国	早	●1.5	●	●始	●始	●始											●	●	1.5	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始										○	○	○	1	
	九州	早																○	○		
		普	○1.5	○	○始	○始	○始									○	○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ	ホタテ	ウリカ	ミ ガ リ	ヘラ タ カ	クロ グ ワイ	オモ ダ カ	ヒル シ ロ	藻 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII MY-100NC ジャンボ	北海道		●2	●	●始	●2		●始			●発生 期	●前	●再生 前~始	+5~7' I2L	30gx 13/a		●	●	●	2	(28) (34) (45) (47)
	東北		●2	●	●2	●2	●2	●始			●		●前				●	●	●	1.5	
	北陸		●2	●	●2	●始	●始						●				●	●	●	2	
	関東 東海	早	●2	●	●2	●始	●始				●発生 期	●前	●再生 前~始						●	1	
		普	●2	●	●2	●始	●始				●	●前						●	●	1.5	
	近畿 中国	早											●								
		普	●2	●	●2	●2	●2						●				●	●	●	1	
	四国	早	●2	●	●2	●2	●2						●								
		普	●2	●	●2	●2	●2						●				●	●	●		
	九州	早											●								
		普	●2	●	●2	●2	●2				●発生 期	●	●			●	●	●	●	1.5	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ	ホタテ	ウリカ	ミ ガ リ	ヘラ タ カ	クロ グ ワイ	オモ ダ カ	ヒル シ ロ	藻 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII NBA-092a ジャンボ II-6-(1) II-6-(2) II-6-(6) を併用	北海道		○2	○	○2	○2		○始		●前	○発生 期	○前	○再生 前~始	+5~7' I2L	40gx 13/a	○	○	○	○	1.5	(38) (42) (45) (47)
	東北		○2	○	○2	○始	○始		●前	●始	○期	●前	○前			○	○	○	○		
	北陸												始								
	関東 東海	早																			
		普																			
	近畿 中国	早																			
		普																			
	四国	早																			
		普																			
	九州	早																			
		普																			

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ハ・E	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ タ カ	クロ イ	オ モ カ	ヒ ル シ ロ	藻類 剥離	セ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII NBA-092b 「シャボ」 II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道												再生 前		40gx 13/a						(28) (34) (38) (42) (45) (47)
	東北												再生 前								
	北陸	早	○2	○	○2	○始	○始	○始					○始	+5~ノ'E2L		○	○	○	○	1.5	
	関東 東海	早	○2	○	○2	○始	○2				○発生 期	○前	○			●	●	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○始		●始	●始	○期	○前	○			○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	○2	○	○2	○始	○2				○発生 期	○前	○			●	○	○	○	1.5	
		普	○2	○	○2	○2	○2				●	○	○			●	○	○	○		
	四国	早	○2	○	○2	○始	○2				○発生 期	○前	○			●	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2				●	○	○			●	○	○	○		
	九州	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●			●	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○始	○2		●始	●始	○期	○	○			●	○	○	○	2	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海、九州)

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海、九州)

処理法	地域名	作期	ハ・E	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ タ カ	クロ イ	オ モ カ	ヒ ル シ ロ	藻類 剥離	セ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII NBA-093 「シャボ」	北海道	早	○2	○	○2	○2					○発生 期	○前	○	+5~ノ'E2L	40gx 13/a		○	○	○	1.5	(28) (34) (45) (47)
	東北	早	○2	○	○2		○2	○2			○期	●	○			○	○	○	○	1	
	北陸	早	○2	○	○2	○始	○始						始					○	○	2	
	関東 東海	早									○発生 期		○					○	○		
		普	○2	○	○始	○2	○始				○期		○					○	○		
	近畿 中国	早	○2	○	○2	○始	○2				○発生 期		○				○	○	○	1.5	
		普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	●	○				○	○	○		
	四国	早	○2	○	○2	○始	○2				○発生 期		○				○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	●	○				○	○	○		
	九州	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生 期	●	○				●	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2				○期		○			○	○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	ハ・E	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ タ カ	クロ イ	オ モ カ	ヒ ル シ ロ	藻類 剥離	セ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII NBA-101 「シャボ」	北海道	早	○2	○	○2	○始		○前			○発生 期	○前	○	+5~ノ'E2L	40gx 13/a	●	○	○	○	2	(28) (34) (45) (47)
	東北	早	○2	○	○始	○始	○始				○期	●	○			○	○	○	○	1.5	
	北陸	早	○2	○	○2	○始							○			○	○	○	○	2	
	関東 東海	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生 期	●	○			●	●	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○始	○始				○期	○	○				○	○	○		
	近畿 中国	早	○2	○	○2	○始	○2				○発生 期		○				○	○	○	1.5	
		普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○	○				○	○	○		
	四国	早	○2	○	○2	○始	○2				○発生 期		○				○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○	○				○	○	○		
	九州	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生 期	●	○			●	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○始	○2				○期	○	○			○	○	○	○	2	

VII NBA-101SB 「シャボ」 「緑」

処理法	地域名	作期	ハ・E	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ タ カ	クロ イ	オ モ カ	ヒ ル シ ロ	藻類 剥離	セ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII NC-377E 「シャボ」	北海道	早	○2	○	○2	○始					○発生 期	○前	○	+5~ノ'E2L	30gx 13/a	●	○	○	○	2	(34) (41) (45) (47)
	東北	早	○2	○	○2	○2	○2				○期		○			○	○	○	○	2	
	北陸	早	○2	○	○2	○2	○始	○始					○			○	○	○	○	1.5	
	関東 東海	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○	○			○	○	○	○	2	
		普	○2	○	○始	○始	○始				○期	○	○			○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○2	○	○2	○始	○2				○発生 期		○				○	○	○	1.5	
		普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○	○				○	○	○		
	四国	早	○2	○	○2	○始	○2				○発生 期		○				○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○	○				○	○	○		
	九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○	○			○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2				○期	○	○			○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガク	ヘラオモ ダカ	クロガ ワイ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII NC-391(1) ジャンボ	土壌処理	北海道	●2	●	●始	●2		●始			●発生 期	●前	●再生 前	+5~ノビE2L	30gx 10/a			●	●	●	1	(28) (34) (45) (47)
		東北	●2	●	●2	●始	●2	●始			●発生 期	●前	●再生 前					●	●	●		
		北陸	●2	●	●始	●始	●始						●始					●	●	●	2	
		関東 東海	早 普	●2	●	●2	●始	●始			●発生 期	●前	●再生 前					●	●	●		
		近畿 中国	早 普	●2	●	●2	●2	●2					●始					●	●	●	1	
		四国	早 普	●2	●	●2	●2	●2					●再生 前					●	●	●		
		九州	早 普	●2	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●始			●	●	●	●	●	1.5	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガク	ヘラオモ ダカ	クロガ ワイ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII NCII-903DEII ジャンボ	土壌処理	北海道	●2	●	●始	●2		●始			●発生 期	●前	●再生 前	+5~ノビE2L	40gx 10/a		●5	●	●	●	2	(28) (34) (45) (47)
		東北	●2	●	●2	●始	●2	●始			●発生 期	●前	●再生 前					●	●	●	1	
		北陸	●2	●	●始	●始	●始						●始					●	●	●	1.5	
		関東 東海	早 普	●2	●	●2	●始	●始			●発生 期	●前	●再生 前					●	●	●		
		近畿 中国	早 普	●2	●	●2	●始	●2					●始					●	●	●	1	
		四国	早 普	●2	●	●2	●始	●2					●再生 前					●	●	●		
		九州	早 普	●2	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●始			●1	●	●	●	●	1.5	

VII NH-001 ジャンボ「継」

VII NH-002 ジャンボ「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガク	ヘラオモ ダカ	クロガ ワイ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII NH-805 ジャンボ	土壌処理	北海道	○2	○	○始	○始					○発生 期	○前	○再生 前	+5~ノビE2L	50gx 10/a			○	○	○	1.5	(45) (47)
		東北	○2	○	○2	○始	○2				○発生 期	○前	○始			●	●	○	○			
		北陸																				
		関東 東海	早 普																			
		近畿 中国	早 普																			
		四国	早 普																			
		九州	早 普																			

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホタルイ	ウリカ	ミヤ ガク	ヘラオモ ダカ	クロガ ワイ	オモガ カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII NH-806 ジャンボ	土壌処理	北海道												+5~ノビE2L	50gx 10/a							(28) (34) (45) (47)
		東北																				
		北陸	○2	○	○2	○2	○始					○前					○	○	○	1.5		
		関東 東海	早 普	○2	○	○2	○始	○始			●発生 期	○前	○再生 前				○	○	○	1		
		近畿 中国	早 普	●2	●	●2	●始	●2			○発生 期	○前	●始				○	○	○	1.5		
		四国	早 普	○2	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○始				○	○	○	1		
		九州	早 普	●2	●	●始	●2	●始			●発生 期	●前	●始			●1	●	●	●	1.5		
			○2	○	○2	○始	○始				○発生 期	○前	○始			○	○	○	○	2		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタル	クワカ	ミヤ ガツリ	ヘラオモ タガ	クログ ワイ	オモ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	植 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII NII-906 ジヤンボ	北海道												再生 前	+5~ノビ I2L	50gx 13/a						(28) (34) (45) (47)
	東北																				
	北陸		●2	●	●始	●始	●始						●始				●	●	●	1.5	
	関東 東海	早 普	●2	●	●2	●始	●始				発生 期	●前	再生 前					●	●	2	
	近畿 中国	早 普	●2	●	●2	●2	●2					●前	再生 前 始				●	●	●	1	
	四国	早 普	●2	●	●2	●2	●2					●前	再生 前				●	●	●		
	九州	早 普	●2	●	●2	●2	●2				発生 期	●	再生 前 始			●	●	●	●	1.5	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタル	クワカ	ミヤ ガツリ	ヘラオモ タガ	クログ ワイ	オモ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	植 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII ONC-381 (旧 NC-381) ジヤンボ	北海道		●2	●	●始	●始		●前			発生 期	●前	再生 前	+5~ノビ I2L	30gx 13/a		●5	●	●	2	(28) (34) (45) (47)
	東北		●2	●	●2	●始	●2				●	●前	再生 前					●	●	1	
	北陸		●2	●	●始	●始	●始						始				●	●	1.5		
	関東 東海	早 普	●2	●	●2	●始	●始				発生 期	●前	再生 前					●	●	1	
	近畿 中国	早 普	●2	●	●2	●始	●始					●前	再生 前 始				●	●	●	1.5	
	四国	早 普	●2	●	●2	●2	●2					●	再生 前					●	●		
	九州	早 普	●2	●	●始	●始	●始				発生 期	●	再生 前 始			●	●	●	●	1.5	

VII SW-001④ ジヤンボ 「継」

VII SW-001④ ジヤンボ 「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタル	クワカ	ミヤ ガツリ	ヘラオモ タガ	クログ ワイ	オモ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	植 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII SW-952 ジヤンボ	北海道		○2	○	○2	○2		●始		○前	○前	○前	○*	+3~ノビ I2L	30gx 13/a	○	○	○	○	2	(36) (40) (42) (45) (47)
	東北		○2	○	○2	○2	○始	○2	○前	○前	○前	○前	○00**			○	○	○	○	1.5	
	北陸												始								
	関東 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタル	クワカ	ミヤ ガツリ	ヘラオモ タガ	クログ ワイ	オモ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	植 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII SW-952P5⑤ ジヤンボ	北海道		●2	●	●始	●始		●始			●	●前	再生 前	+3~ノビ I2L	35gx 13/2a		●5	●	●	2	(45) (47)
	東北		●2	●	●2	●始	●2				●	●前	再生 前					●	●	1.5	
	北陸												始								
	関東 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年広葉マハ' E	ホ' R	ウ' R	ミ' R	ヘ' R	クロ' R	モ' R	ヒ' R	葉表剥離	セ' R	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII SW-952P5 「シャボ」	北海道												再生前		35g x13 /2a						(28) (34) (45) (47)
	東北																				
	北陸		● 2	●	● 2	● 始	● 始	● 始					● 始	+3~ハ' E 2L			●	●	●	2	
	関東東海	早										発生期	● 前	再生前				●	●	●	
	近畿中国	早	● 2	●	● 2	● 始	● 始					● 前	● 前	再生前				●	●	●	1
	近畿中国	普	● 2	●	● 2	● 2	● 2					● 前	● 前	再生前				●	●	●	
	四国	早	● 2	●	● 2	● 2	● 2					● 前	● 前	再生前				●	●	●	
	四国	普	● 2	●	● 2	● 2	● 2					● 前	● 前	再生前				●	●	●	
	九州	早										発生期	● 前	再生前							
	九州	普	● 2	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 前	再生前			●	●	●	1.5	

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年広葉マハ' E	ホ' R	ウ' R	ミ' R	ヘ' R	クロ' R	モ' R	ヒ' R	葉表剥離	セ' R	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII TII-913CS 「シャボ」	北海道		○ 2	○	○ 始	○ 始		○ 始			○ 発生期	○ 前	○ 再生前		50g x13 /2a	●	○	○	○	2	(34) (41) (45) (47)
	東北		○ 2	○	○ 2	○ 始	○ 2				○ 発生期	○ 前	○ 再生前					○	○	1.5	
	北陸		○ 2	○	○ 2	○ 始	○ 始	○ 始				○ 前	○ 始	+3~ハ' E 2L			○	○	○		
	関東東海	早	● 2	●	● 2	● 2	● 2					発生期	● 前	再生前				●	●	1	
	関東東海	普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 始				○ 発生期	○ 前	○ 再生前				○	○	○	1.5	
	近畿中国	早	● 2	●	● 2	● 始	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前				●	●	●		
	近畿中国	普	○ 2	○	○ 2	○ 始	○ 2				○ 発生期	○ 前	○ 再生前				●	●	●		
	四国	早	● 2	●	● 2	● 始	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前				●	●	●		
	四国	普	○ 2	○	○ 2	○ 始	○ 2				○ 発生期	○ 前	○ 再生前				●	●	●		
	九州	早	● 2	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前				●	●	●	1	
	九州	普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生期	○ 前	○ 再生前				○	○	○	1.5	

* 砂壌土は
ハ' E 1.5Lまで
(近畿・中国・
四国)

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年広葉マハ' E	ホ' R	ウ' R	ミ' R	ヘ' R	クロ' R	モ' R	ヒ' R	葉表剥離	セ' R	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII AC-014C 「シャボ」	北海道		○ 1.5	○	○ 始	○ 始								+5~ハ' E 1.5L	50g x13 /2a	○	○	○	○	1	(28) (34) (45) (47)
	東北		○ 1.5	○	○ 始	○ 始	○ 始											○	○	1.5	
	北陸		○ 2	○	○ 始	○ 始								+5~ハ' E 2L			○	○	○		
	関東東海	早										発生期									
	関東東海	普	○ 2	○	○ 始	● 始	● 始				● 発生期						●	○	○	2	
	近畿中国	早																			
	近畿中国	普	○ 2	○	○ 始	○ 始											○	○	○	1	
	四国	早																			
	四国	普	○ 2	○	○ 始	○ 始											○	○	○		
	九州	早										発生期									
	九州	普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生期						○	○	○	1.5	

* 砂壌土は
ハ' E 1.5Lまで
(関東・東海)

IX 一年生持続型除草剤

IX	HOK-991	「シャボ」	「継」
----	---------	-------	-----

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年広葉マハ' E	ホ' R	ウ' R	ミ' R	ヘ' R	クロ' R	モ' R	ヒ' R	葉表剥離	セ' R	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
IX SB-533P5 「シャボ」	北海道		● 1.5	●	● 始			● 始						+1~ハ' E 1.5L	30g x13 /2a	●	●	●	●	2	(34) (45) (47)
	東北		● 1.5	●	● 始	● 始												●	●	1	
	北陸		● 1.5	●	● 始	● 始											●	●	●	1.5	
	関東東海	早																			
	関東東海	普	● 1.5	●	● 始	● 前											●	●	●	2	
	近畿中国	早																			
	近畿中国	普	● 1.5	●	● 始	● 始											●	●	●	1	
	四国	早																			
	四国	普	● 1.5	●	● 始	● 始											●	●	●		
	九州	早																			
	九州	普	● 1.5	●	● 始	● 始											●	●	●		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホタテ	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ モタ	クロ ワイ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離	ヒ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
IX SB-554 ジャンボ	土壌処理	北海道													50gx 17/a						(45) (47)
		東北																			
		北陸																			
		関東 東海	早 普																		
		近畿 中国	早 普	●1	●	●始	●前							+1~+5 (7EIL)			●	●	●	2	
		四国	早 普	●1	●	●始	●前										●	●	●		
		九州	早 普																		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホタテ	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ モタ	クロ ワイ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離	ヒ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
IX SW-965 ジャンボ	土壌処理	北海道	○2	○	○始	○始	●始							+3~7EIL	50gx 17/a	●	○	○	○	2	(45) (47)
		東北	○2	○	○2	○始	○始									○	○	○	○	1.5	
		北陸	○2	○	○始	○始										○	○	○	○	1	
		関東 東海	早 普	○2	○	○始	○始									●	●	○	○		
		近畿 中国	早 普	○2	○	○始	○始									○	○	○	○	2	
		四国	早 普	○2	○	○始	○始									○	○	○	○	1.5	
		九州	早 普	○2	○	○始	○始									●	○	○	○	2	
																○	○	○	○	1.5	
																○	○	○	○		
																○	○	○	○		

水稻用除草剤

初期一発除草剤

アワード フロアブル
クサトリ-E ジャンボ L

初・中期一発除草剤

キングダム フロアブル
クサナイン フロアブル

初期除草剤

一田助 フロアブル
農将軍 フロアブル

カルショット フロアブル
シーゼット フロアブル

ビーンズ 1キロ粒剤
ライガード フロアブル
ロンゲット フロアブル

シング 乳剤
レトリール フロアブル

には、
ピリブチカルブ[®]
が使用されています。

コニ

大日本インキ化学工業株式会社
東京都中央区日本橋3-7-20 ティックビル

水稻関係除草剤使用基準の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。
 (本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む)
 草種欄の数字、字句で草種ごとの葉齢を示した。
 [例: ○始(発生始)、○2(2葉期まで)]
 IV及びVの項目の地域名の○は、前年度までに実用化の認められている地域を示し、●は本年度新たに実用化の認められた地域を示した。
 使用上の注意は別途一覧表の番号で記し、一覧表にない注意事項の場合は欄外に字句を記載した。
2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、処理時期および使用量を記載した。
3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合
 作 期 の 拡 大: 拡大可能となった作期の適用草種・土壌に●を印した。
 地域判定欄は「実・継」
 草 種 の 拡 大: 拡大可能となった草種に●を印した。
 葉 齢 の 拡 大: 拡大可能となった葉齢に、アンダーラインを付した。
 (例: ○2.5)
 処理時期、使用量の拡大: 拡大部分にアンダーラインを付した。(例: +3~1/1 12L, 50~75ml/a)
 土壌条件の拡大: 拡大可能となった土壌に●を印した。
4. 「継」、「継?」、「中止」の場合は判定のみ記載した。

前年度までの試験経過欄()内の記号

- A : 新規年度
 A a : 新規年度(但し成分から作用性が予測される剤)
 B : 他の栽培法、やや異なる処理法
 C : 継続検討

使用上の注意一覧表

- (1) 低気温及び低水温は薬害の危険性があるので使用はさける。
- (2) 処理後2日以内に低温や降雨が予想される場合は使用をさける。
- (3) ごく浅植えの場合、薬害のおそれがあるので注意する。
- (4) 移植後の深水はさける。
- (5) 深水での処理はさける。
- (6) 散布は水稻になるべくかからないようにする。
- (7) 著しい高温条件下の時は、砂壤土ではクロロシスの発生が著しいので注意する。
- (8) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。
- (9) MCP混合剤の注意事項を守る。
- (10) 処理後の灌水は48～72時間経過後に行う。
- (11) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。
- (12) 落水もしくは浅水で使用する。
- (13) ミズガヤツリの多い水田では早めに散布する。
- (14) ミズガヤツリに対し遅い処理では、400g/aを処理する。
- (15) ホタルイ、ミズガヤツリ優占圃場では、400g/aで処理する。
- (16) ホタルイ多発田では早めに使用する。
- (17) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。
- (18) コナギ多発田では早めに処理する。
- (19) 一年生広葉雑草多発田では400g/aとし、特にヒメミソハギが多発する水田での使用はさける。
- (20) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
- (21) 前処理剤との組み合わせで使用する。
- (22) 希釈水量は出来るだけ少なく茎葉に付着するように散布する。
- (23) ノリ面散布は避ける。
- (24) 流入、飛散等による水稻への薬害に注意する。
- (25) 周辺の作物に飛散しないように注意する。
- (26) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。
- (27) ホタルイ多発田では、ホタルイに有効な中・後期剤との組み合わせで使用する。
- (28) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
- (29) コウキヤガラに有効な中・後期剤との組み合わせで使用する。
- (30) 水稻が水面に抽出してから使用する。
- (31) 短小苗、深水条件での使用はさける。
- (32) クログワイ防除はクログワイに有効な後期剤との組み合わせで使用する。
- (33) 広葉多発田での使用はさける。
- (34) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
- (35) マツバイ多発田での使用はさける。
- (36) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (37) クログワイ防除の場合、同一成分含有薬剤を初期剤として使用しないこと。
- (38) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (39) ミズガヤツリ防除は、ミズガヤツリに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
- (40) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (41) 散布後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用を差し控える。
- (42) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (43) エゾノサヤヌカグサ防除は、エゾノサヤヌカグサに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (44) クサネムが残草または後発生した場合は有効な後期剤を散布する。
- (45) 水深5～6cmの湛水条件で投入し、少なくとも1日間は十分な水位を維持する。
- (46) 移植前処理は田面水が澄んでから投入する。
- (47) 藻類または表層剥離の発生しやすい水田では有効な剤との体系で使用する。
- (48) 散布に均一性を必要としない。湛水周縁部散布は、藻類・表層剥離などの浮遊物のない条件で田面の露出しない十分な水深で行う。